

愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果

1 目的

愛知県環境学習等行動計画（以下：行動計画）の評価のために、行動計画の3本の柱や、各主体に期待される取組について前回調査（平成25年度）進捗状況を把握するとともに、連携・協働を推進するために愛知県が今後行うべき施策の方向性を探る。

2 調査概要

対象	対象数	期間	方法	備考
1 県民	3,000人	28.10.1 ～10.20	県政世論調査	県内の20歳以上の男女
2 事業者	415者	28.10.11 ～10.27	電子申請届出 システム 又は メール、FAX	環境パートナーシップ・CLUB 一般会員 名商 eco クラブ会員
3 NPO	404団体			環境保全を図る活動を行う者
4 学校	1286校			県内の公立、私立小中高等学校、 特別支援学校
5 幼稚園 認定こども園	421校			愛知県私立幼稚園連盟に加盟している 者
6 大学	65校			県内の大学
7 市町村	54市町村			県内全市町村の環境を所管する部局

3 回答数・回答率

対象	送付数	回答数	回答率	H25 回答率		
県民	3,000	1,610	53.7%	52.6%		
事業者	415	69※	16.6%	16.6%		
	内訳	EPOC	264	53	20.1%	18.3%
	名商 eco クラブ	172	19	11.0%	13.6%	
	不明	—	2	—	—	
NPO	404	69	17.1%	21.3%		
学校	1286	997	77.5%	82.0%		
	内訳	小学校	717	564	78.7%	83.3%
	中学校	330	255	77.3%	75.4%	
	高等学校	206	149	72.3%	87.8%	
	特別支援学校	33	29	87.9%	89.7%	
幼稚園・認定こども園	421	218	51.8%	28.3%		
大学	65	39	60.0%	80.6%		
市町村	54	54	100.0%	100.0%		

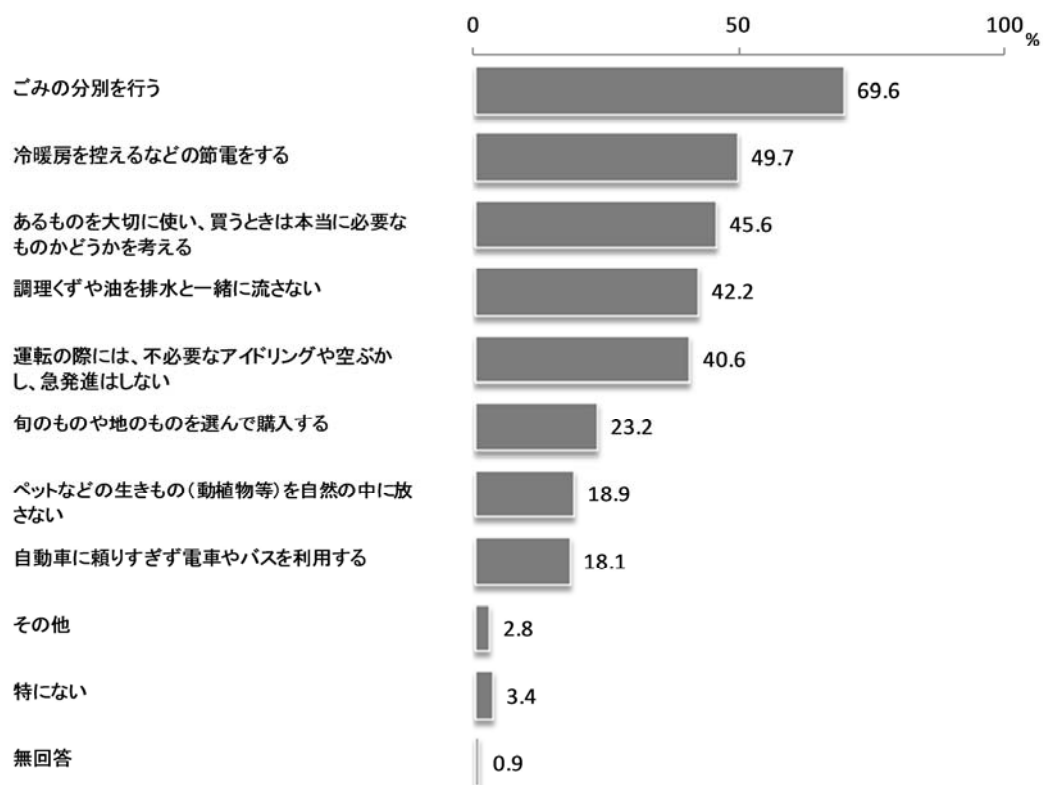
※ EPOC、名商 eco クラブ共に加盟している事業者がある。

県政世論調査結果

「エコアクション」(環境配慮行動)の取組状況

「ごみの分別を行う」が 69.6%

問 17 あなたは、毎日の暮らしの中でどのようなエコアクションをしていますか。【〇は複数可】



件数=1,610

暮らしの中で行っているエコアクションについて、「ごみの分別を行う」と答えた人の割合が 69.6%と最も高く、続いて「冷暖房を控えるなどの節電をする」(49.7%)、「あるものを大切に使い、買うときは本当に必要なものかどうかを考える」(45.6%)の順になっている。

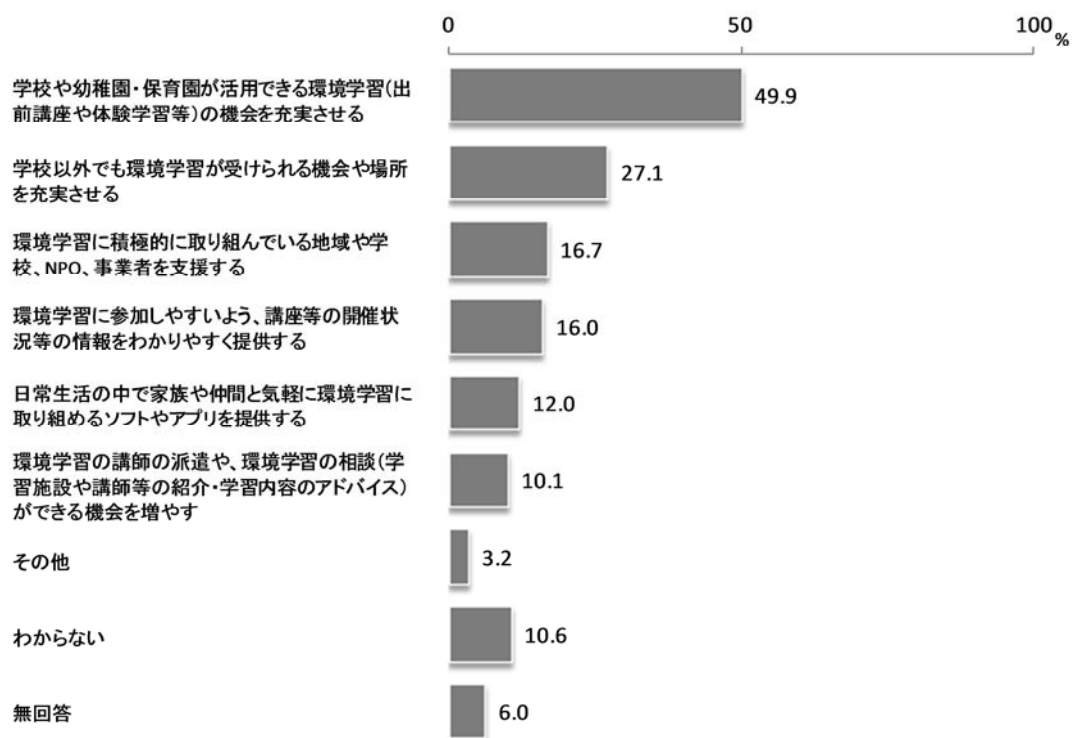
愛知県が取り組むべき環境学習

「学校や幼稚園・保育園が活用できる環境学習（出前講座や体験学習等）の機会を充実させる」が 49.9%

問 18 エコアクションを実践する人を増やすためには、環境学習が重要です。

あなたは、環境学習について愛知県が重点的に取り組むべきことは何だと考えますか。

【〇は2つまで】



件数=1,610

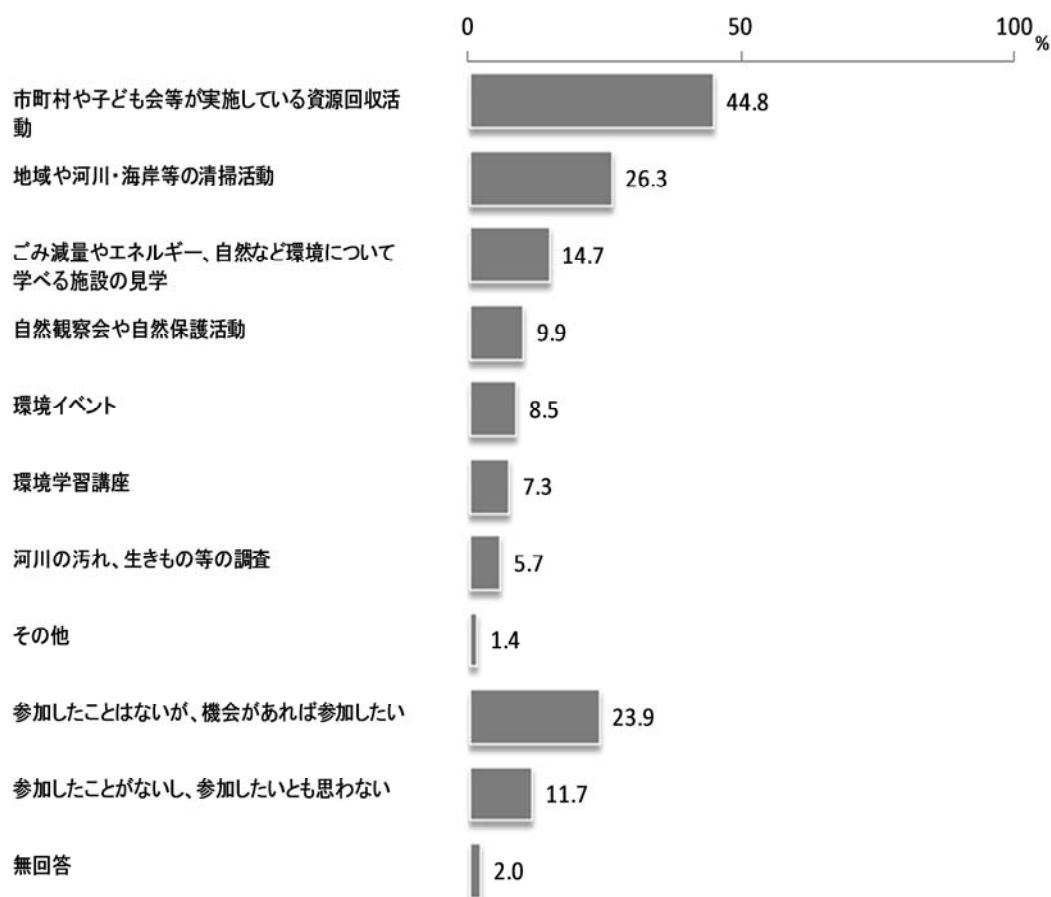
愛知県が取り組むべき環境学習について、「学校や幼稚園・保育園が活用できる環境学習の機会を充実させる」と答えた人の割合が 49.9%と最も高く、続いて「学校以外でも環境学習が受けられる機会や場所を充実させる」(27.1%)、「環境学習に積極的に取り組んでいる地域や学校、NPO、事業者を支援する」(16.7%)の順になっている。

環境学習や環境保全活動への参加状況

「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」が 44.8%

問 19 一人一人が環境を大切に思う心を持ち、環境に配慮した行動へつなげていくためには、環境学習や環境保全活動に参加していくことが重要です。

あなたはこれまで、次のうちどれに参加したことがありますか。【〇は複数可】



件数=1,610

環境学習や環境保全活動への参加状況について、「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」と答えた人の割合が 44.8%と最も高く、続いて「地域や河川・海岸等の清掃活動」(26.3%)、「ごみ減量やエネルギー、自然など環境について学べる施設の見学」(14.7%)の順になっている。

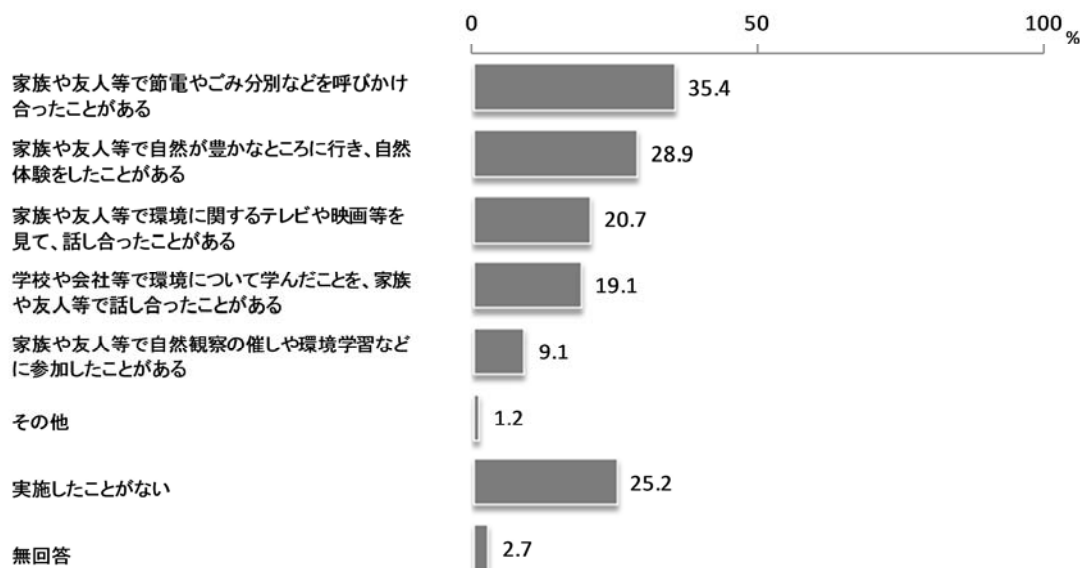
一方で、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」と答えた人の割合は、23.9%、「参加したことがないし、参加したいとも思わない」と答えた人の割合は、11.7%となっている。

家族や友人等と行った環境学習の実施状況

「家族や友人等で節電やごみ分別などを呼びかけ合ったことがある」が 35.4%

問 20 一人一人が日常生活において環境に配慮した取組を行うためには、家族や友人等の役割が重要です。

あなたは、次のうちどれをしたことがありますか。【〇は複数可】



件数=1,610

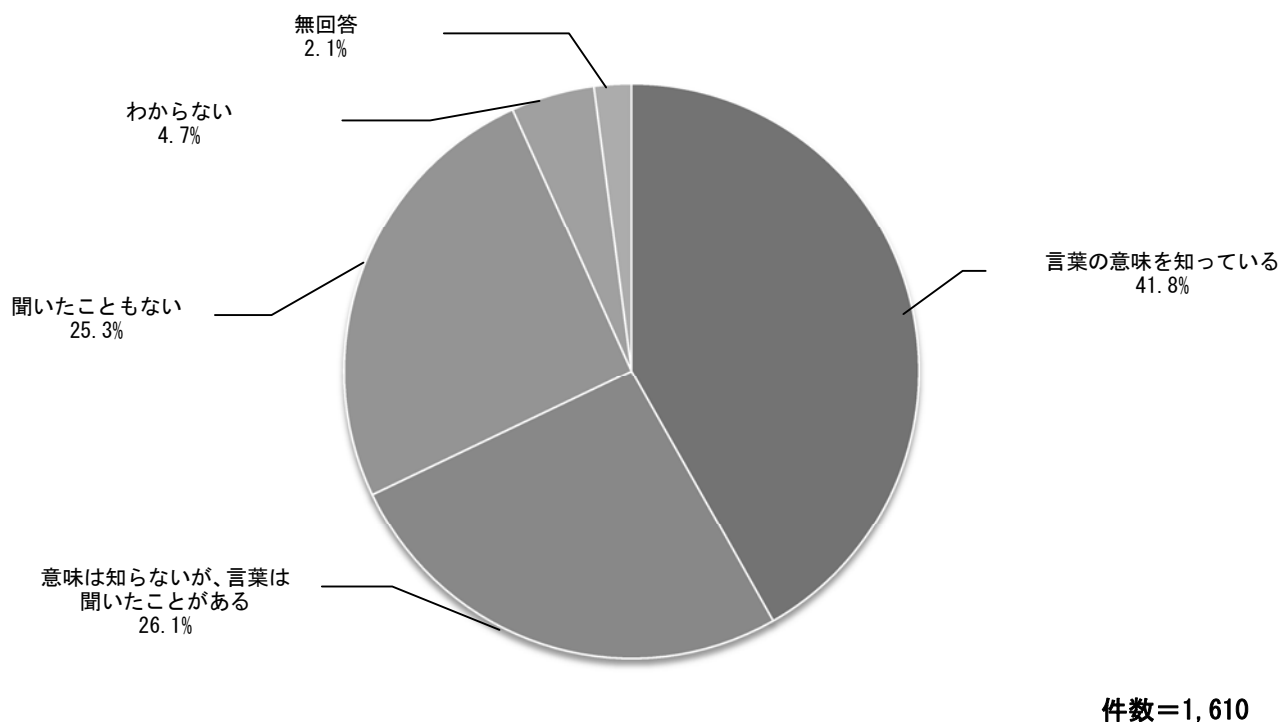
家族や友人等と行った環境学習の実施状況について、「家族や友人等で節電やごみ分別などを呼びかけ合ったことがある」と答えた人の割合が 35.4%と最も高く、続いて「家族や友人等で自然が豊かなところに行き、自然体験をしたことがある」(28.9%)、「家族や友人等で環境に関するテレビや映画等を見て、話し合ったことがある」(20.7%)の順になっている。

一方で、「実施したことがない」と答えた人の割合は、25.2%となっている。

「3R」を知っているか

「3R」という言葉の意味を"知っている"が41.8%

問21 「3R」とは、Reduce（リデュース：発生抑制）、Reuse（リユース：再使用）、Recycle（リサイクル：再生利用）の頭文字「R」が3つの単語に共通することから生まれた言葉です。あなたは、「3R」の言葉の意味を知っていますか。【Oは1つ】



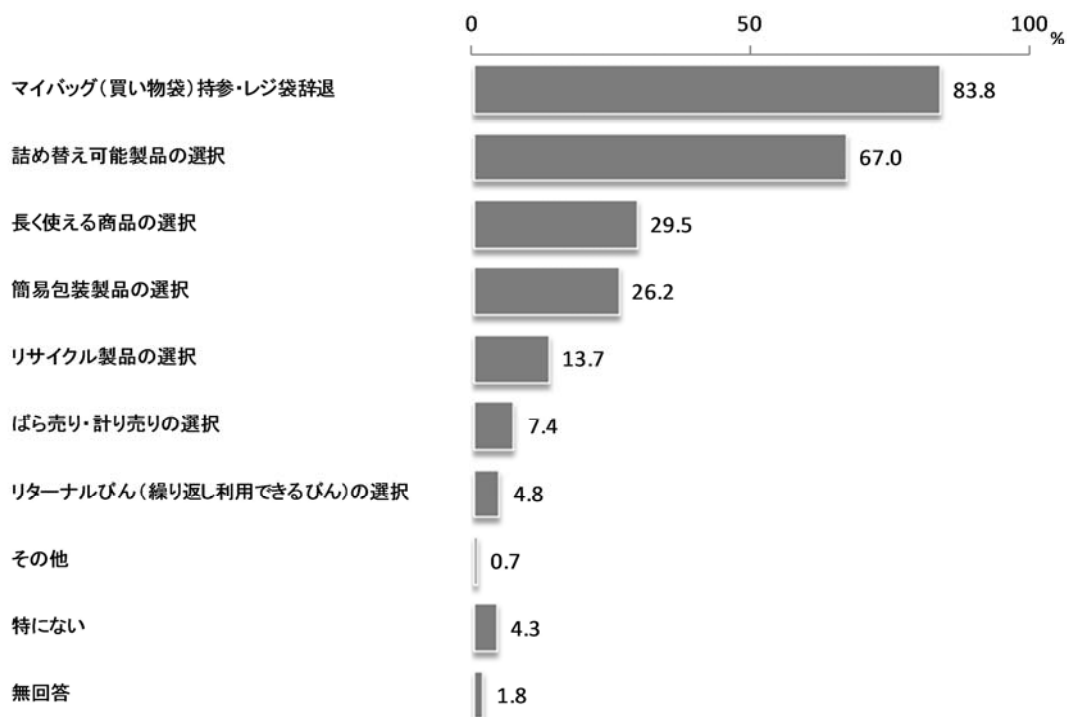
「3R」という言葉について、「言葉の意味を知っている」と答えた人の割合が41.8%と最も高く、続いて「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」（26.1%）、「聞いたこともない」（25.3%）の順になっている。

買い物をするときに取り組んでいること

「マイバッグ（買い物袋）持参・レジ袋辞退」が 83.8%

問 22 ごみの減量やリサイクルに関し、あなたが買い物をするときに取り組んでいることは何ですか。

【〇は複数可】



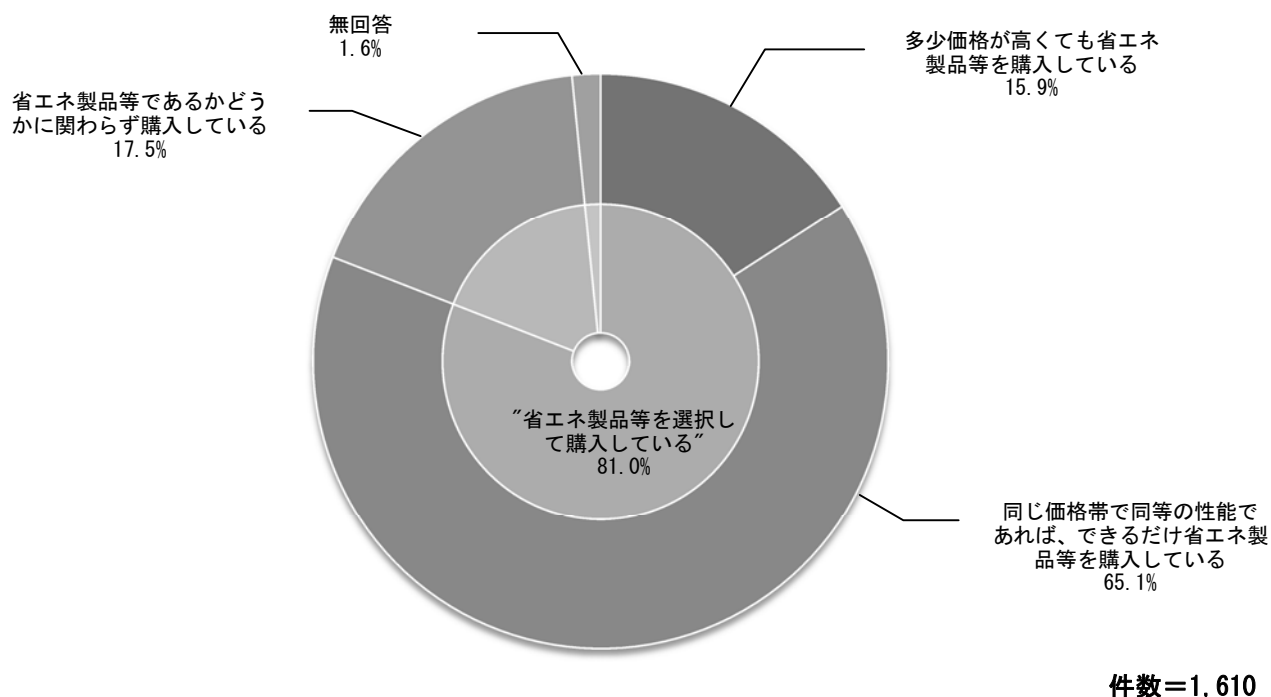
件数=1,610

買い物をするときに取り組んでいることについて、「マイバッグ（買い物袋）持参・レジ袋辞退」と答えた人の割合が 83.8%と最も高く、続いて「詰め替え可能製品の選択」（67.0%）、「長く使える商品の選択」（29.5%）の順になっている。

省エネ製品等の選択

“省エネ製品等を選択して購入している”が 81.0%

問 23 あなたは、家電や日用品、自動車などを購入する際に、省エネ製品等（省エネラベルが表示された家電製品、エコマークが印刷された日用品、電気自動車やハイブリッド自動車などのエコカー、地元産の農水産物など）を選んでいきますか。【〇は1つ】



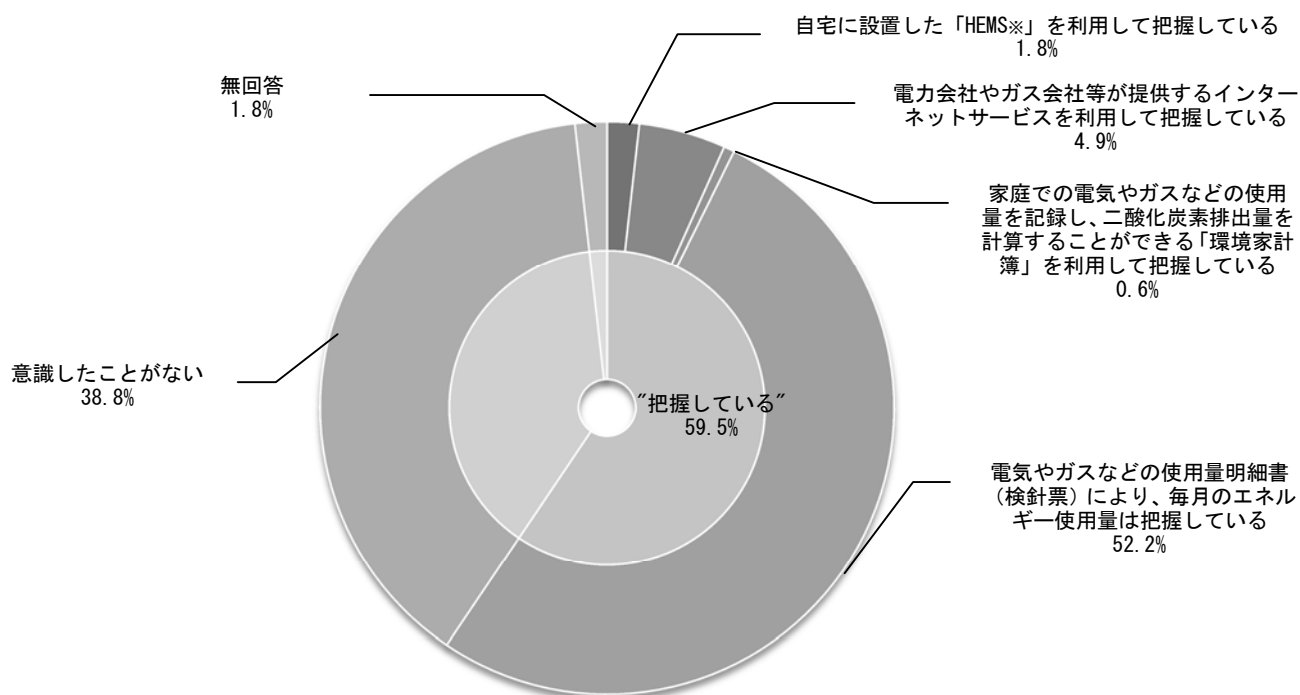
買い物をするときの省エネ製品等の選択について、「多少価格が高くても省エネ製品等を購入している」（15.9%）と「同じ価格帯で同等の性能であれば、できるだけ省エネ製品等を購入している」（65.1%）を合わせた“省エネ製品等を選択して購入している”と答えた人の割合が 81.0%であったのに対し、「省エネ製品等であるかどうかに関わらず購入している」と答えた人の割合は 17.5%となっている。

家庭でのエネルギー使用量等の把握

“把握している”が 59.5%

問 24 地球温暖化問題の解決に向けて、一人一人が日々の生活の中で、エネルギー使用量を減らすよう心がけることが不可欠です。

あなたは、御自分の家庭でのエネルギー使用量（主に電気とガス）や二酸化炭素排出量を把握していますか。【〇は1つ】



件数=1,610

家庭でのエネルギー使用量等について、「自宅に設置した「HEMS※」を利用して把握している」（1.8%）、「電力会社やガス会社等が提供するインターネットサービスを利用して把握している」（4.9%）、「家庭での電気やガスなどの使用量を記録し、二酸化炭素排出量を計算することができる『環境家計簿』を利用して把握している」（0.6%）、「電気やガスの使用量明細書（検針票）により、毎月のエネルギー使用量は把握している」（52.2%）を合わせた“把握している”と答えた人の割合が 59.5%であったのに対し、「意識したことがない」と答えた人の割合は 38.8%となっている。

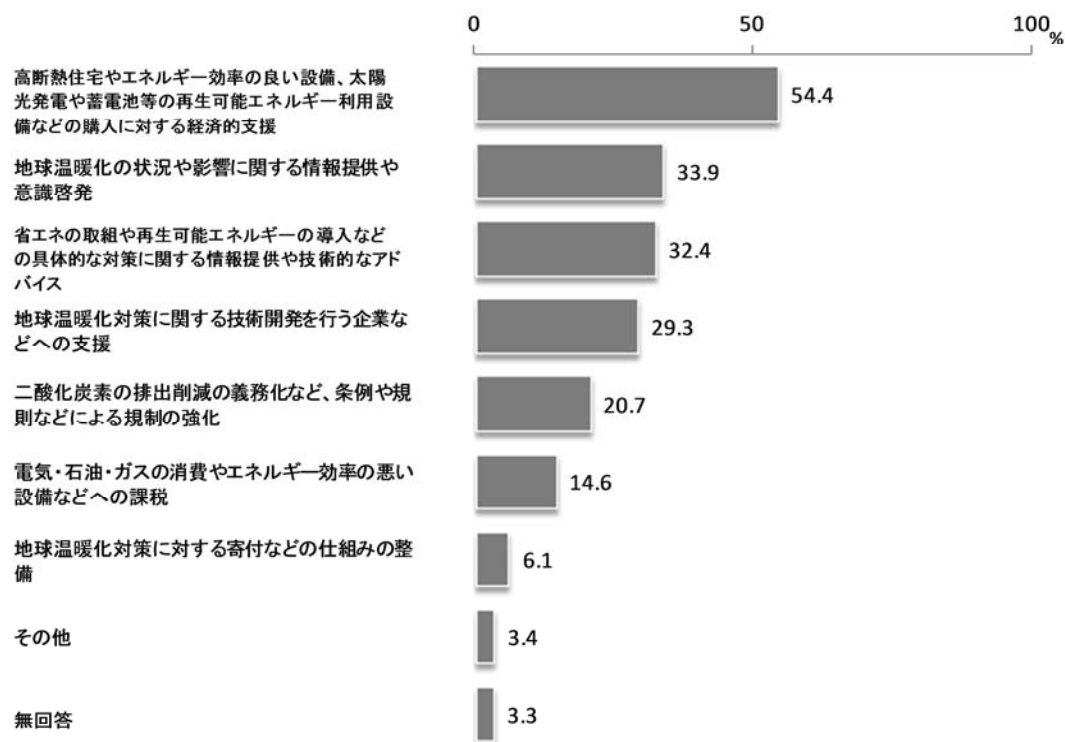
※HEMS:家庭用エネルギーマネジメントシステム。住宅内の家電製品等とネットワークで接続し、稼働状況などを監視、遠隔操作や自動制御することで、家庭内におけるエネルギー管理（省エネ）を支援する。

地球温暖化問題を解決するために愛知県が進めるべき取組

「高断熱住宅やエネルギー効率の良い設備、太陽光発電や蓄電池等の再生可能エネルギー利用設備などの購入に対する経済的支援」が54.4%

問 25 地球温暖化問題を解決するために、愛知県はどのような取組を進めるべきだと思いますか。

【〇は3つまで】



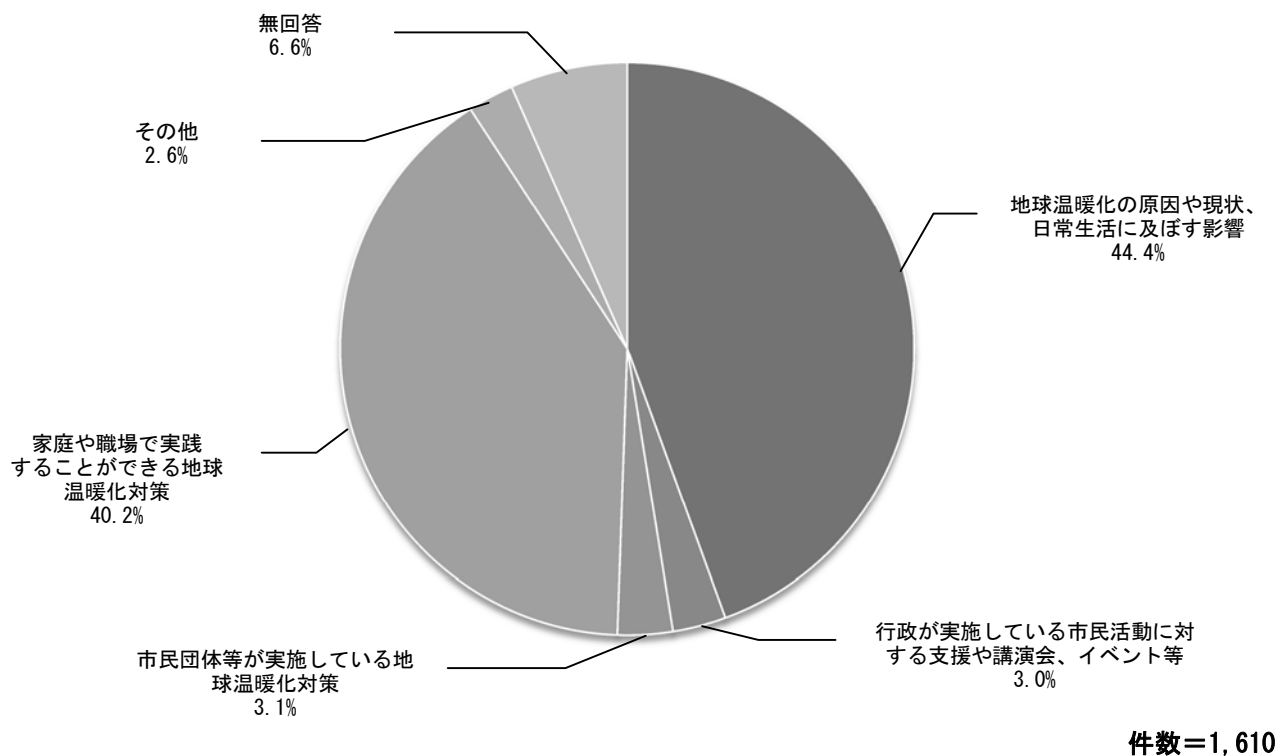
件数=1,610

地球温暖化問題の解決に向けて愛知県が進めるべき取組について、「高断熱住宅やエネルギー効率の良い設備、太陽光発電や蓄電池等の再生可能エネルギー利用設備などの購入に対する経済的支援」と答えた人の割合が54.4%と最も高く、続いて「地球温暖化の状況や影響に関する情報提供や意識啓発」(33.9%)、「省エネの取組や再生可能エネルギーの導入などの具体的な対策に関する情報提供や技術的なアドバイス」(32.4%)の順になっている。

地球温暖化対策に必要な情報

「地球温暖化の原因や現状、日常生活に及ぼす影響」が44.4%

問 26 地球温暖化対策に関して、あなたが必要だと思う情報は何ですか。【〇は1つ】



地球温暖化対策に必要な情報について、「地球温暖化の原因や現状、日常生活に及ぼす影響」と答えた人の割合が44.4%と最も高く、続いて「家庭や職場で実践することができる地球温暖化対策」（40.2%）、「市民団体等が実施している地球温暖化対策」（3.1%）の順になっている。

愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果

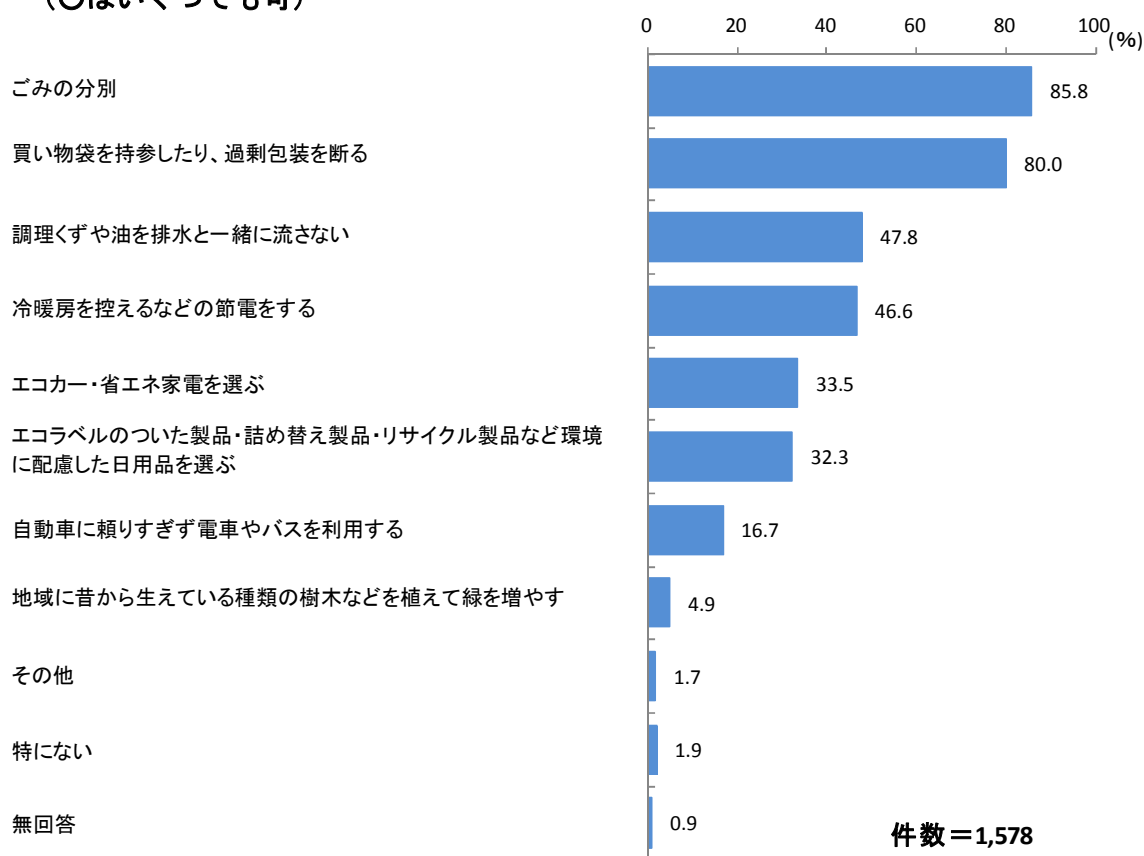
(平成25年度第2回県政世論調査において実施)

- 1 調査対象 愛知県内に居住する20歳以上の男女 3,000人
 2 回答者数 1,578人(回収率 52.6%)

取り組んでいる環境保全活動

「ごみの分別」が85.8%

問29 私たちの周りにおける環境問題は私たちの暮らしと強くつながっていることから、環境問題の解決には、私たち一人ひとりが省エネなど身近なことから取り組む必要があります。あなたは、毎日の暮らしの中で環境に配慮するために、どのような取組をしていますか。(〇はいくつでも可)



取り組んでいる環境保全活動について、「ごみの分別」と答えた人の割合が85.8%で最も高く、次いで「買い物袋を持参したり、過剰包装を断る」(80.0%)、「調理くずや油を排水と一緒に流さない」(47.8%)、「冷暖房を控えるなどの節電をする」(46.6%)の順になっている。

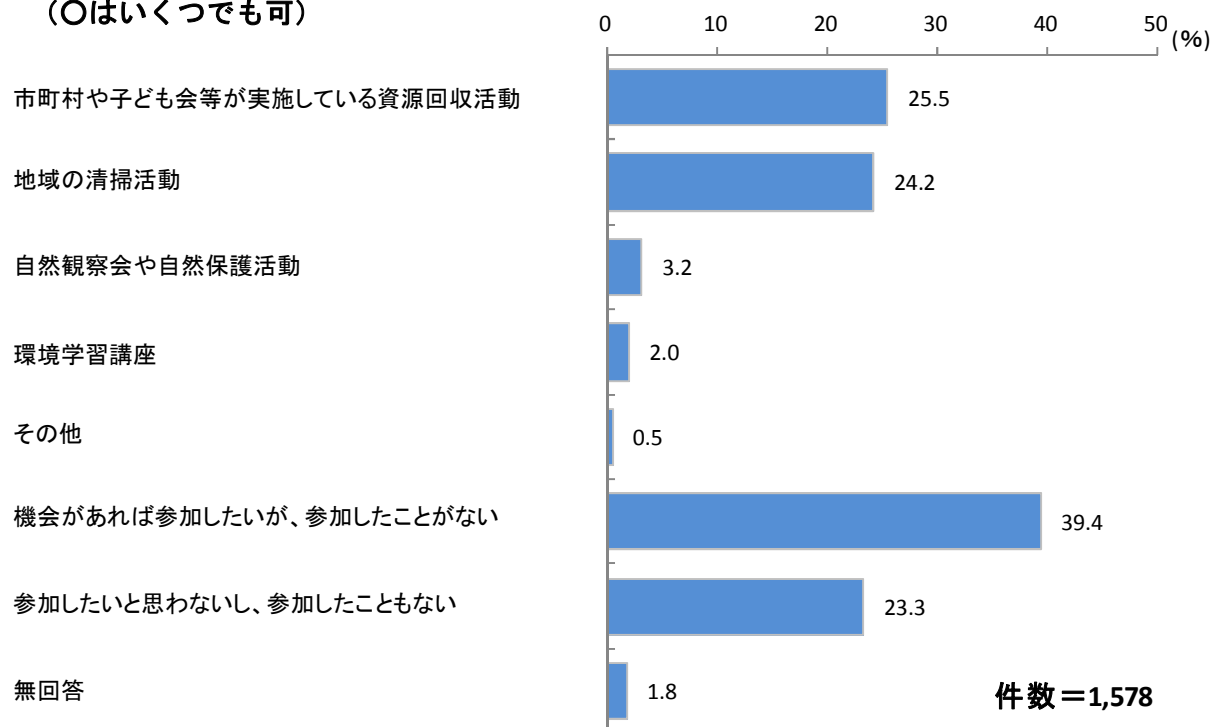
参加したことがある環境学習や環境保全活動

「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」が25.5%

問 30 愛知県では、「あいち環境学習プラザ」（名古屋市中区）や愛・地球博記念公園にある「もりの学舎」（長久手市）などの環境学習施設で様々な環境学習を実施しています。この他にも市町村や様々な団体が環境学習や環境保全活動（自然保護活動・地域の清掃活動など）を実施しています。

あなたはこれまで、どのような環境学習や環境保全活動に参加したことがありますか。

（〇はいくつでも可）



参加したことがある環境学習や環境保全活動について、「市町村や子ども会等が実施している資源回収活動」と答えた人の割合が25.5%で最も高く、次いで「地域の清掃活動」（24.2%）の順となっている。一方で、「機会があれば参加したいが、参加したことがない」と答えた人の割合は39.4%、「参加したいと思わないし、参加したこともない」と答えた人の割合は23.3%となっている。

環境学習や環境保全活動の情報入手先

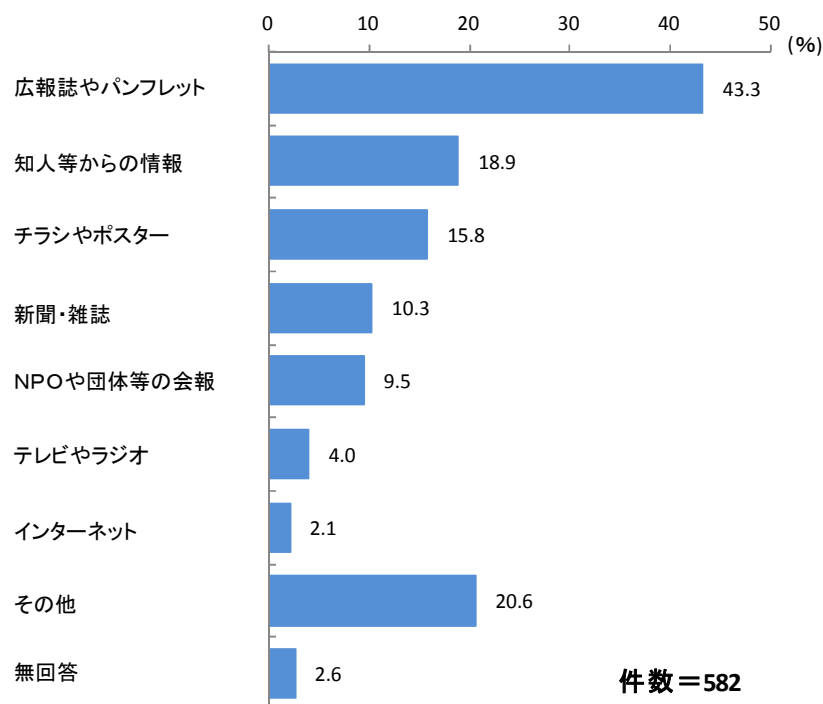
「広報誌やパンフレット」が43.3%

問31 《問30で1～5に○をつけた方にお尋ねします。》

愛知県では、「あいち環境学習情報ライブラリー」というホームページで環境学習の開催状況等の情報を発信したり、新聞等の各種メディアで広報を行っています。

あなたは、ご自身が参加した環境学習や環境保全活動をどうやって知りましたか。

(○はいくつでも可)



環境学習や環境保全の情報入手先について、「広報誌やパンフレット」と答えた人の割合が43.3%で最も高く、次いで「知人等からの情報」(18.9%)、「チラシやポスター」(15.8%)の順になっている。

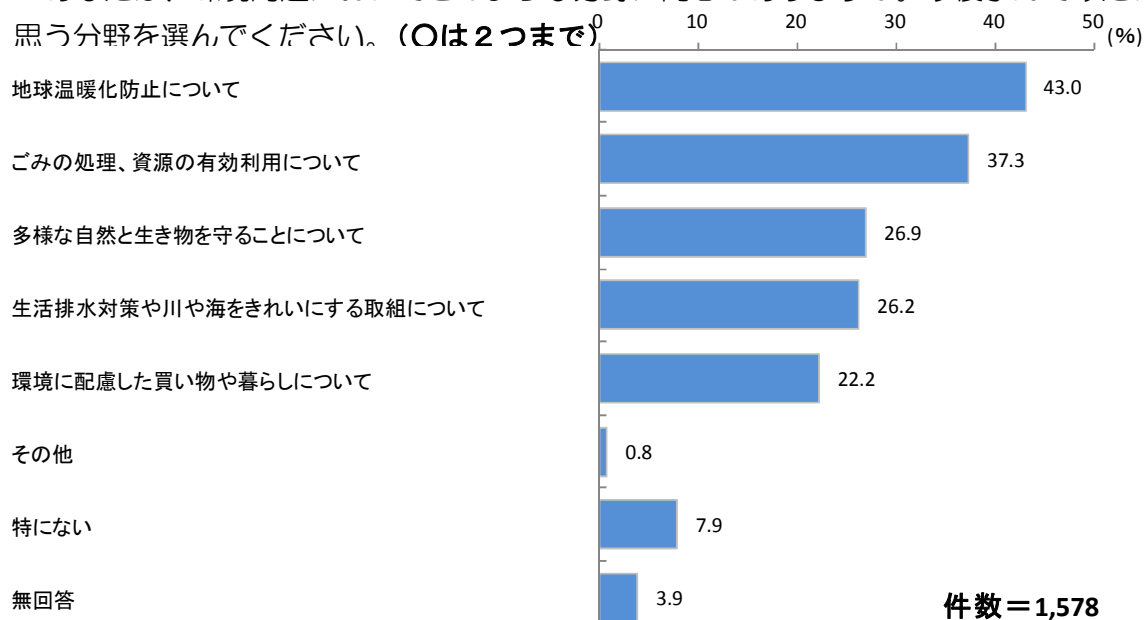
「その他」(20.6%) (120件) については、記述回答があった103件のうち、「町内会や子ども会といった地元からの回覧板等による情報」が78件、「学校からの情報」が17件で、大半を占

学んでみたい環境問題の分野

「地球温暖化防止について」が43.0%

問 32 愛知県では、「ストップ温暖化教室」や「自然観察会」など様々な環境学習を実施しています。

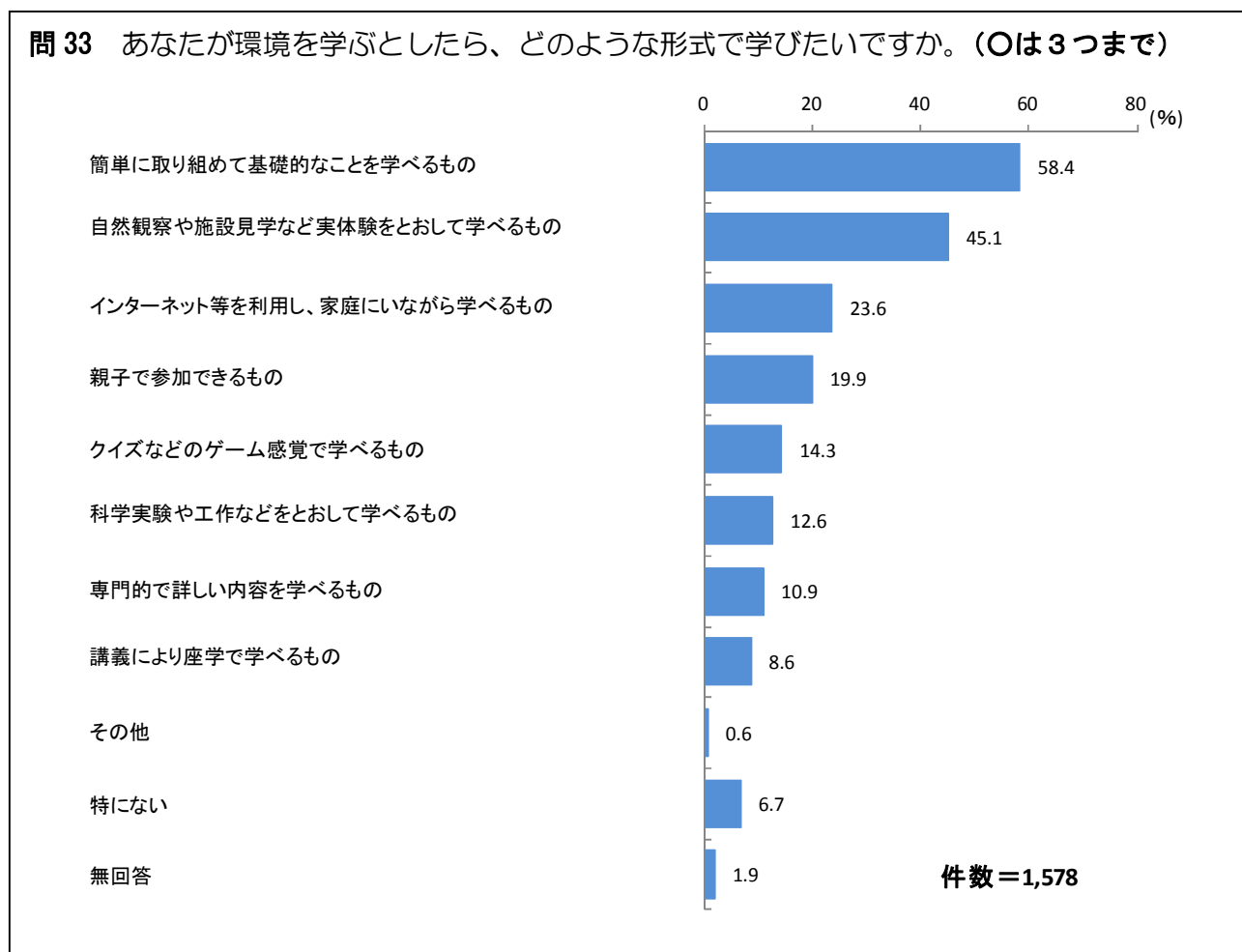
あなたは、環境問題においてどのような分野に関心がありますか。今後学んでみたいと思う分野を選んでください。(〇は2つまで)



学んでみたい環境問題の分野について、「地球温暖化防止について」と答えた人の割合が43.0%で最も高く、次いで「ごみの処理、資源の有効利用について」(37.3%)、「多様な自然と生き物を守ることにについて」(26.9%)、「生活排水対策や川や海をきれいにする取組について」(26.2%)の順になっている。

環境を学ぶ際に希望する学習形式

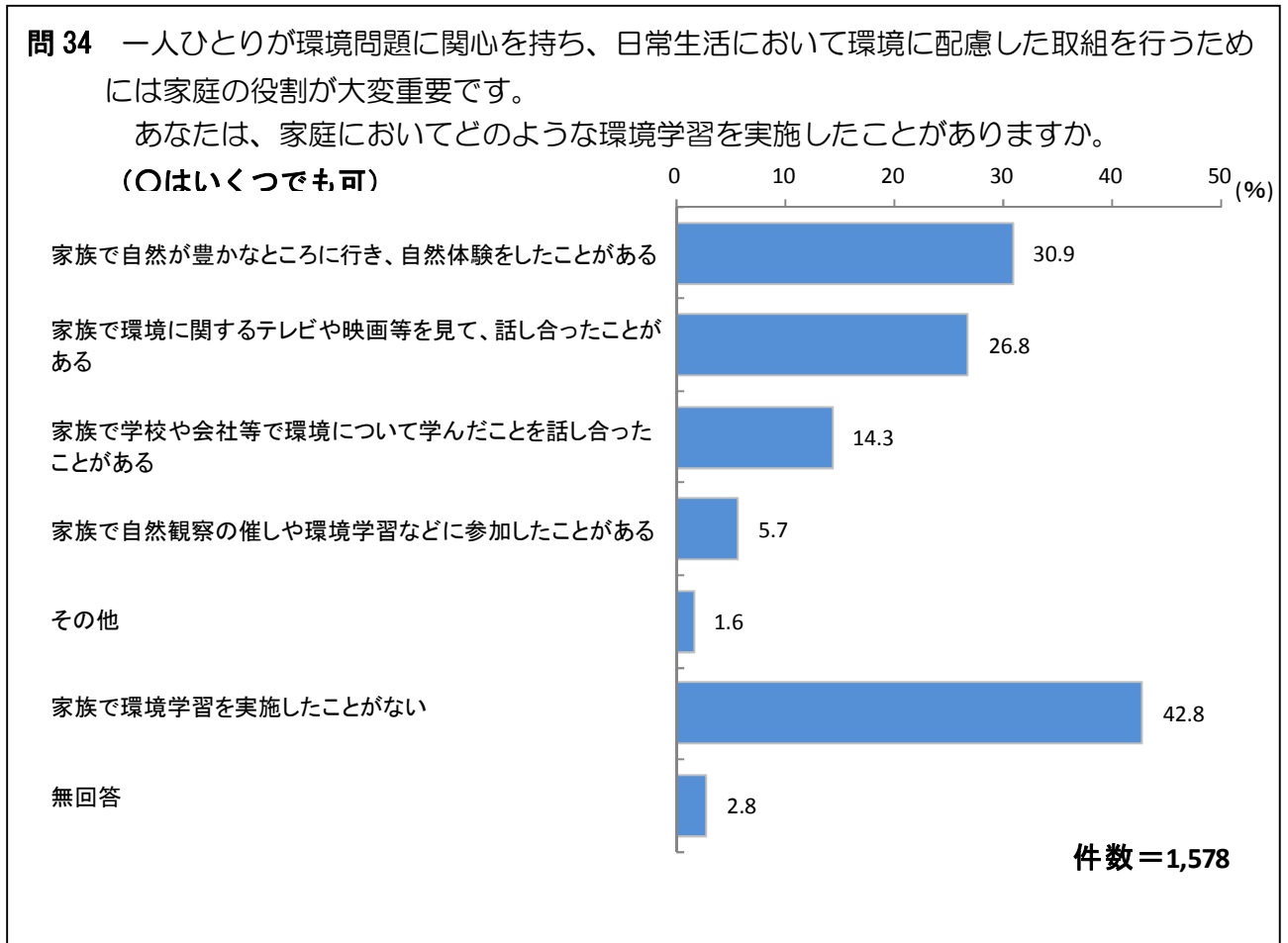
「簡単に取り組めて基礎的なことを学べるもの」が58.4%



環境を学ぶ際に希望する学習形式について、「簡単に取り組めて基礎的なことを学べるもの」と答えた人の割合が58.4%で最も高く、次いで「自然観察や施設見学など実体験をとおして学べるもの」(45.1%)、「インターネット等を利用し、家庭にしながら学べるもの」(23.6%)の順になっている。

家族で実施したことのある環境学習

「家族で自然が豊かなところに行き、自然体験をしたことがある」が30.9%

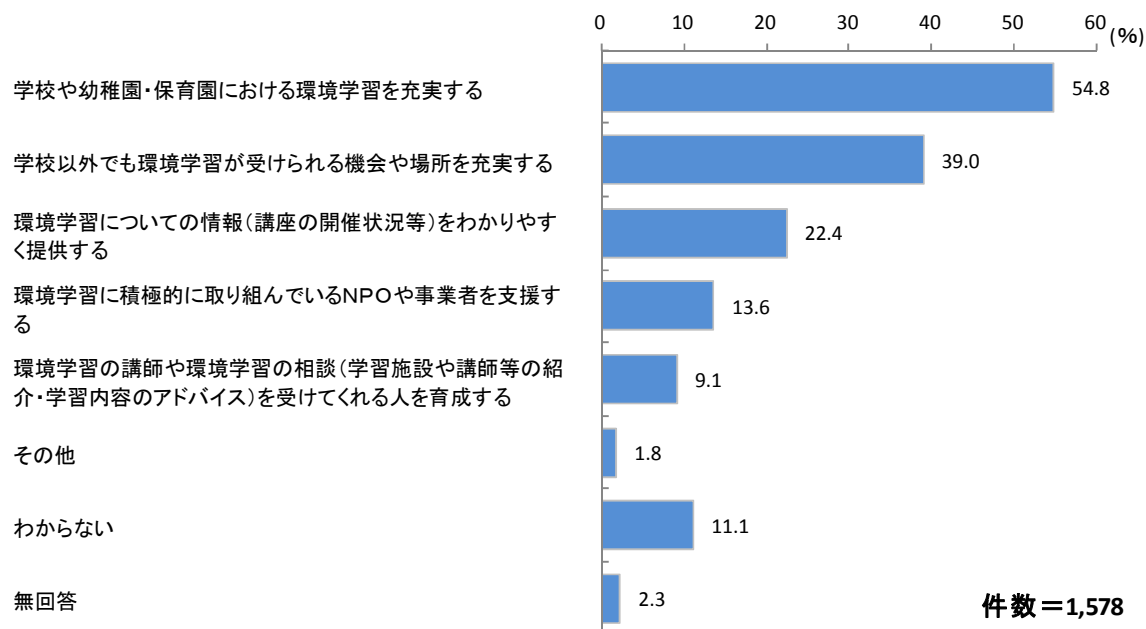


家族で実施したことのある環境学習について、「家族で自然が豊かなところに行き、自然体験をしたことがある」(30.9%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「家族で環境に関するテレビや映画等を見て、話し合ったことがある」(26.8%)、「家族で学校や会社等で環境について学んだことを話し合ったことがある」(14.3%)の順となっている。一方で、「家族で環境学習を実施したことがない」と答えた人の割合は42.8%となっている。

愛知県が取り組むべき環境学習

「学校や幼稚園・保育園における環境学習を充実する」が54.8%

問35 あなたは、環境学習を進めていく上で、愛知県が重点的に取り組むべきことは何だと考えますか。(〇は2つまで)



愛知県が取り組むべき環境学習について、「学校や幼稚園・保育園における環境学習を充実する」と答えた人の割合が54.8%で最も高く、次いで「学校以外でも環境学習が受けられる機会や場所を充実する」(39.0%)、「環境学習についての情報(講座の開催状況等)をわかりやすく提供する」(22.4%)の順になっている。

平成 28 年度 愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果 (事業者向け)

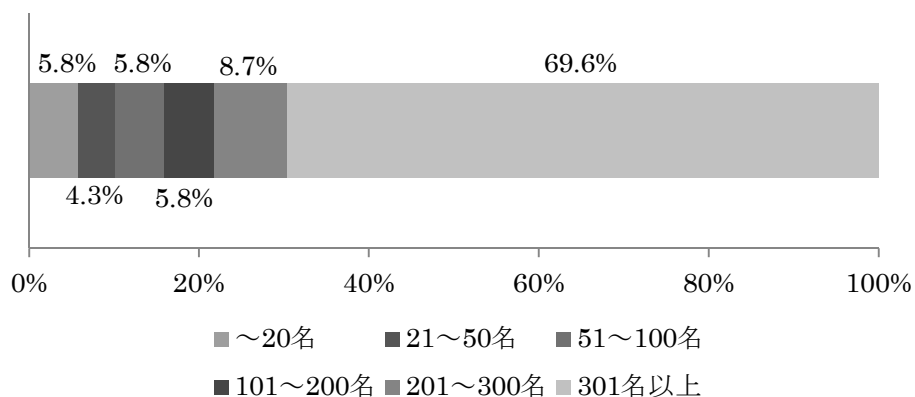
回答状況

実施年度	対象件数	回答件数	回答率
平成 28 年度	415 件	69 件	16.6%
平成 25 年度	386 件	64 件	16.6%

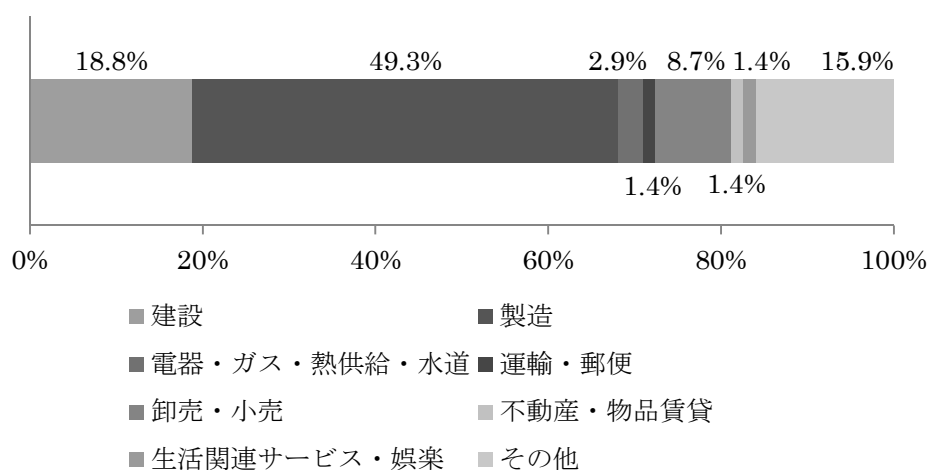
EPOC	名商 eco クラブ	その他
53	19	2

平成 28 年度回答事業者

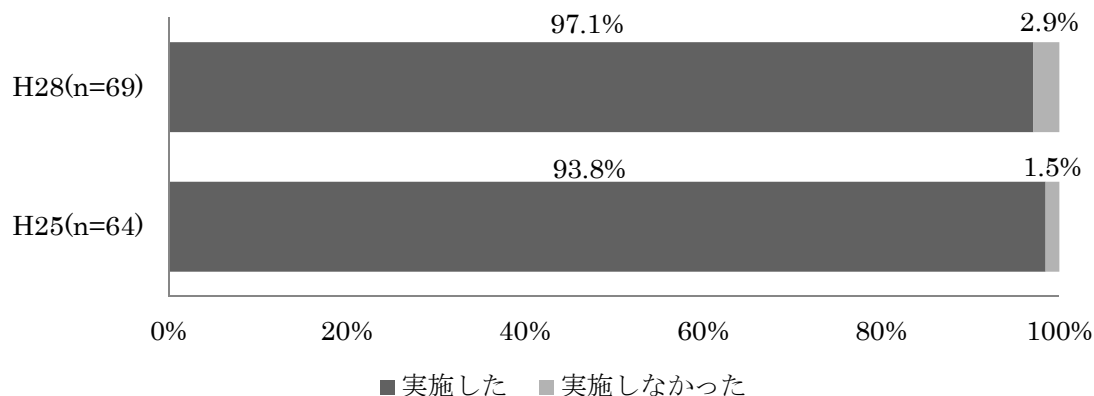
従業員数	
～20 名	4
21～50 名	3
51～100 名	4
101～200 名	4
201～300 名	6
301 名以上	48



業 種	
建設	13
製造	34
電器・ガス・熱供給・水道	2
運輸・郵便	1
卸売・小売	6
不動産・物品賃貸	1
生活関連サービス・娯楽	1
その他	11



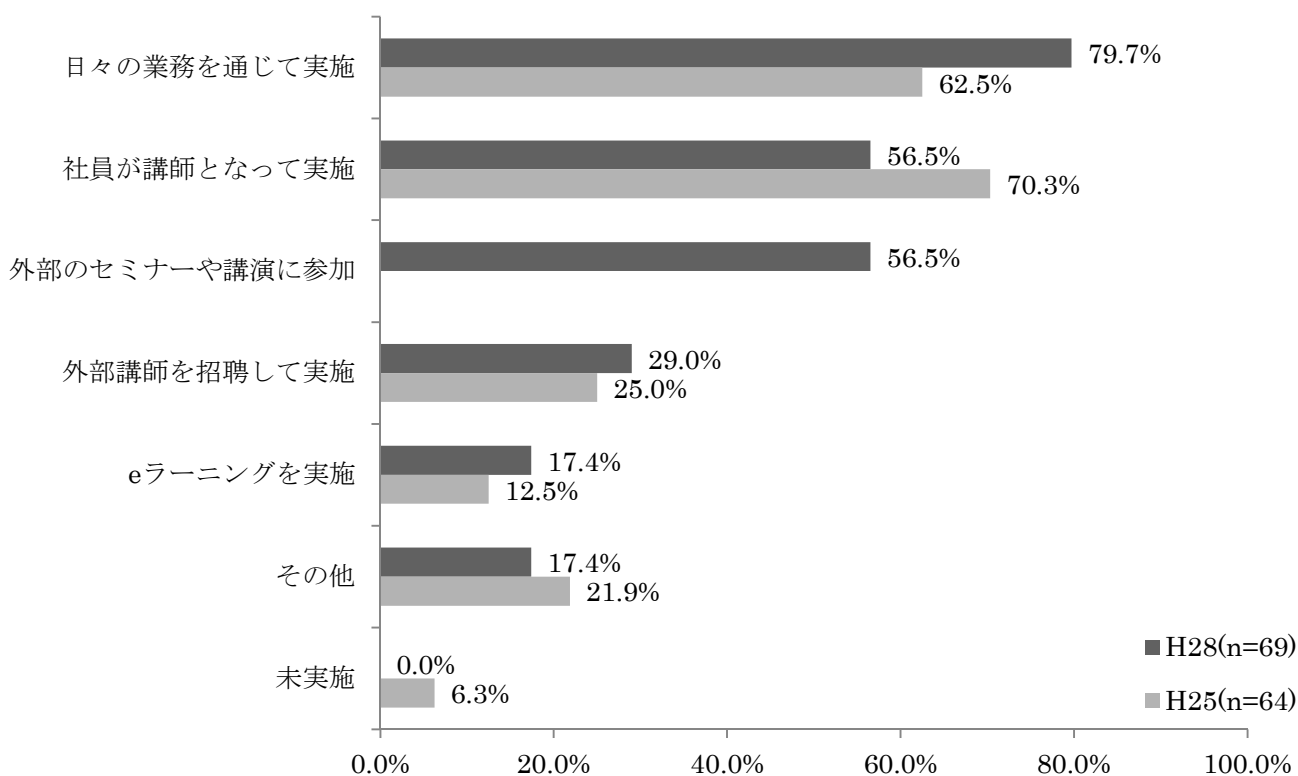
問1 サービスや情報提供などにおいて環境負荷の低減に関する取組を実施しましたか。または、環境に配慮した製品・サービスの提供を実施しましたか。



<実施しなかった理由>

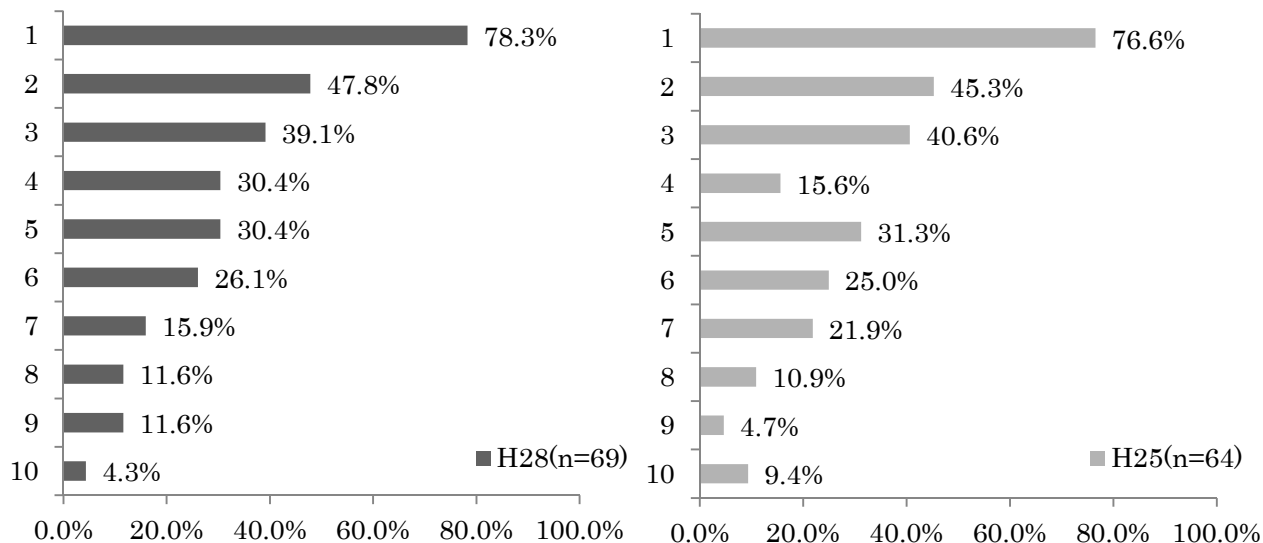
- ・卸売業のため、商品の流通とは関わり合いが少ないため。
- ・請負業のため

問2 社員教育の中でどのように環境教育を実施しましたか。



・平成25年度調査では、3「外部の団体等が行うセミナーや講演に参加した」という回答は、その他の回答のうち5件(7.8%)であった。

問3 どのような環境保全活動や環境教育を実施しましたか。



	H28	H25
1	環境美化・環境保全活動（社員のみ参加）	地域の清掃活動
2	環境美化・環境保全活動（地域住民参加）	里山保全活動・植樹活動
3	ブース出展・パネル展示	
4	自然体験・自然観察会	
5	工場等を利用した学習	
6	出前講座等の座学による環境教育	
7	NPO や地域住民への経済的支援	
8	環境保全活動の場の提供	
9	その他	
10	未実施	

※環境美化・環境保全活動：清掃活動、植樹活動、里山保全活動

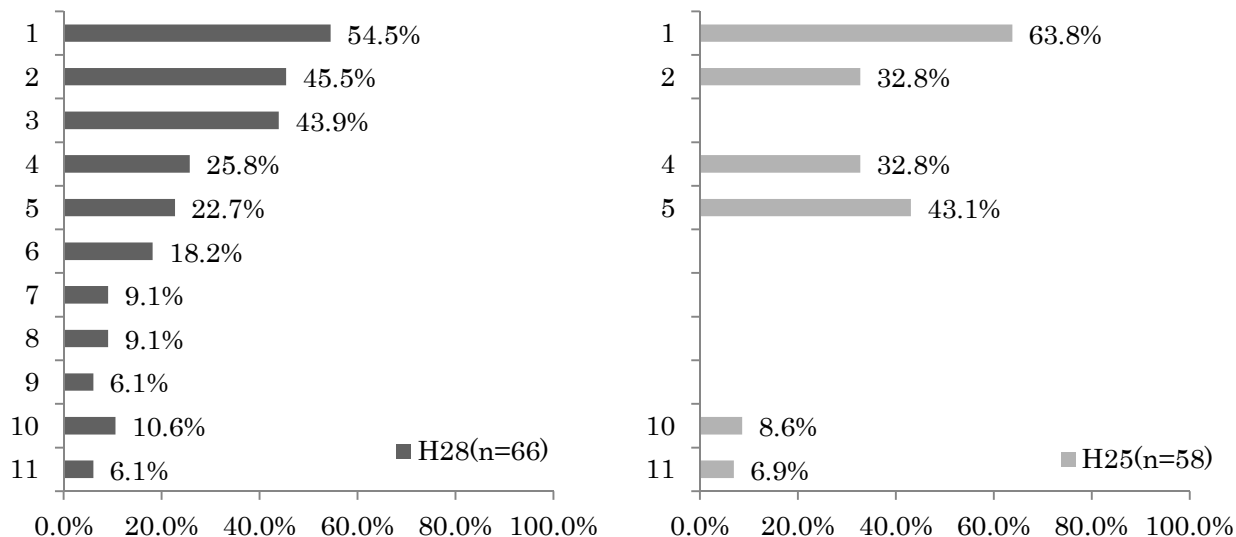
<H28 その他の内容>

- ・取引先と協働イベントの実施（リサイクル工場見学、植樹等）
- ・（一社）日本環境アセスメント協会などの活動を通じての企画・参加
- ・地元の環境保全団体等への寄付つき定期預金の取り扱い
- ・地元の高校と共同してのグリーンカーテンの設置
- ・県立自然科学系博物館への助成活動

<実施していない理由>

- ・自社に適した方策が分かれば実施したい
- ・社内のみ環境 ISO により実施

問4 環境保全活動や環境教育を実施する際、どのような主体と連携して実施しましたか。



	H28	H25
1	行政（市町村・県）	行政（市町村・県）
2	事業者（企業）	事業者（企業）
3	地域住民（子ども会、町内会等を含む）	
4	小学校	学校等
5	NPO（国際NPO・NGOを含む）	NPO（地域の専門家を含む）
6	大学	
7	中学校	
8	高等学校	
9	幼稚園・保育所・認定こども園	
10	その他	その他
11	連携・協働しなかった	連携協働しなかった

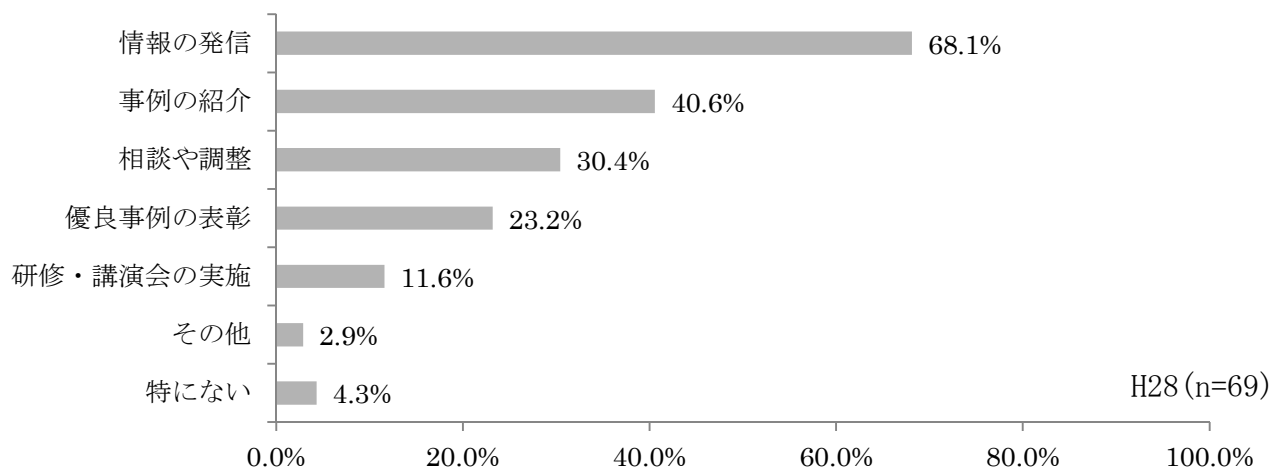
<その他の内容>

- ・工業団地組合
- ・名商 eco クラブ
- ・障がい者支援施設
- ・グループ会社
- ・庄内川災害対策協力会

<連携協働しなかった理由>

- ・活動できる人材が不足
- ・社屋近隣の清掃活動のため連携する必要がない

問5 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策



<その他の内容>

- ・地域の活動団体と連携して活動を開始する際、「お見合い」の場が必要
- ・愛知県が県民への環境の重要性への認識活動を実施

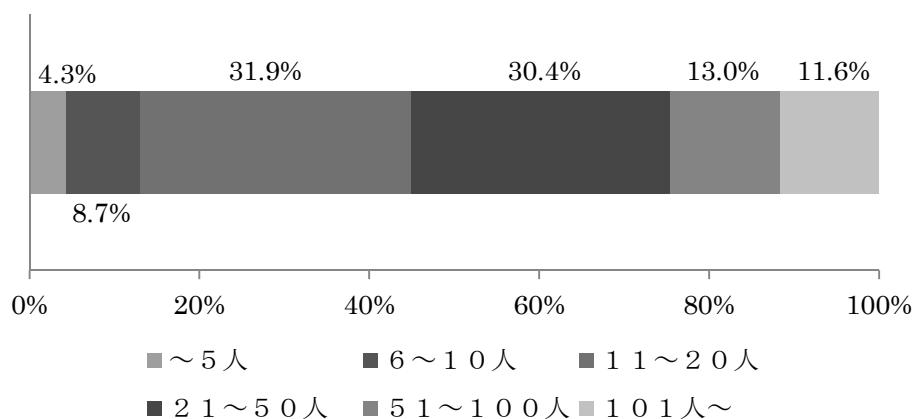
平成 28 年度 愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果 (NPO向け)

回答状況

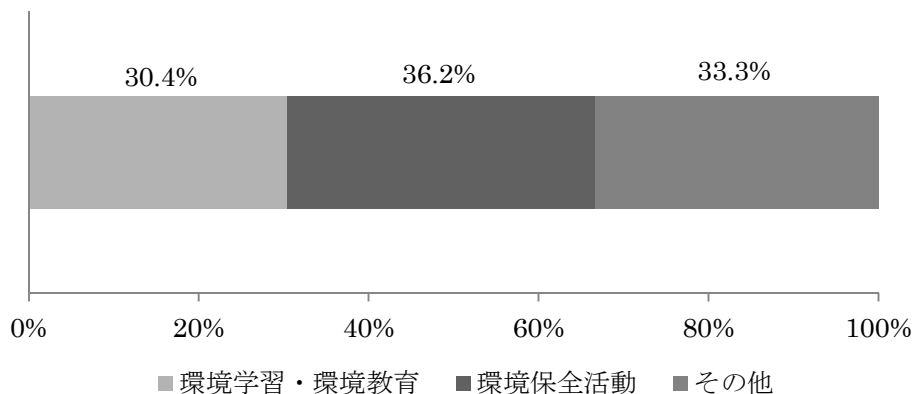
実施年度	対象件数	回答件数	回答率
平成 28 年度	404 件	69 件	17.1%
平成 25 年度	427 件	91 件	21.3%

平成 28 年度回答団体

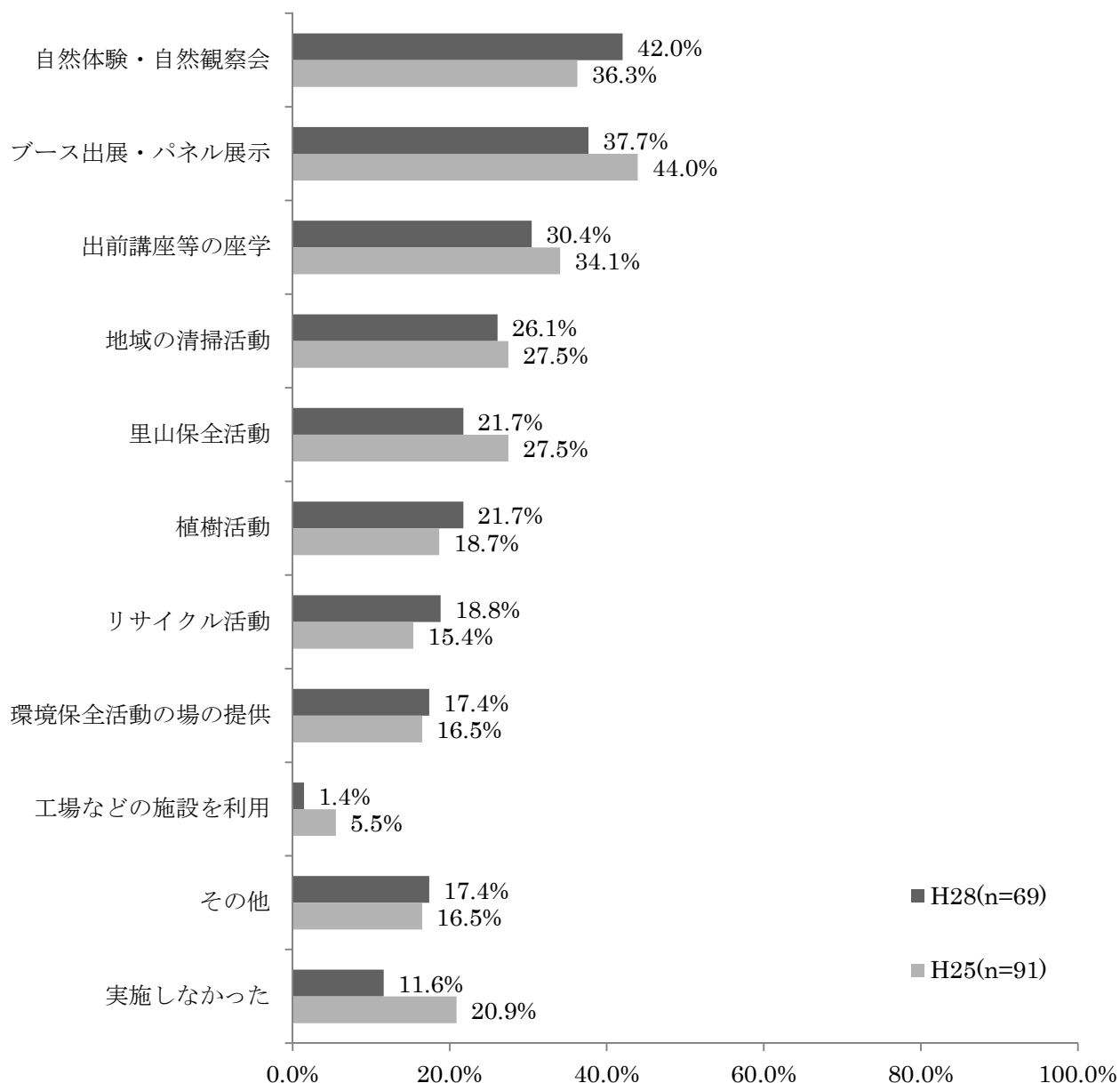
団体規模	
～5 人	3
6～10 人	6
11～20 人	22
21～50 人	21
51～100 人	9
101 人～	8



主な活動	
環境学習・環境教育	21
環境保全活動	25
その他	23



問1 どのような環境保全活動や環境学習を実施しましたか。



<その他の内容>

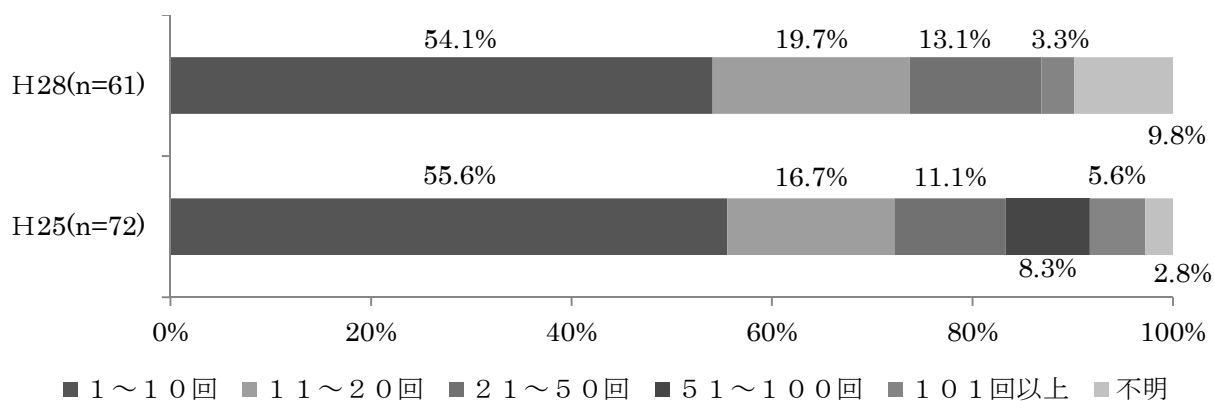
- ・ 原発事故被災地の支援活動
- ・ 遊休農地活用、農業体験農園
- ・ 地域の木育を目的としたイベントを開催
- ・ 打ち水大作戦
- ・ 環境経営ゲームの普及
- ・ 出前講座での体験型環境学習（紙すき等）

<実施しなかった理由>

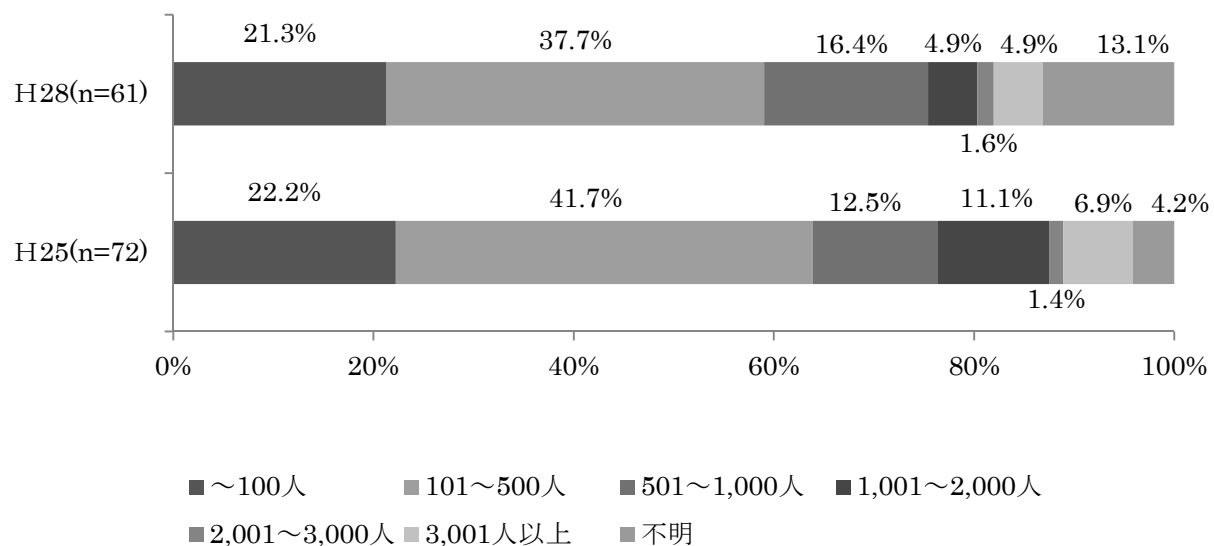
- ・ 他の活動に力を注ぎ環境活動については特に実施せず。
- ・ 定款に定める事業に含まれていない。
- ・ 中間支援活動に重点を置いて活動しているため
- ・ 時間の確保が困難

問2 環境保全活動や環境学習を何回実施しましたか。

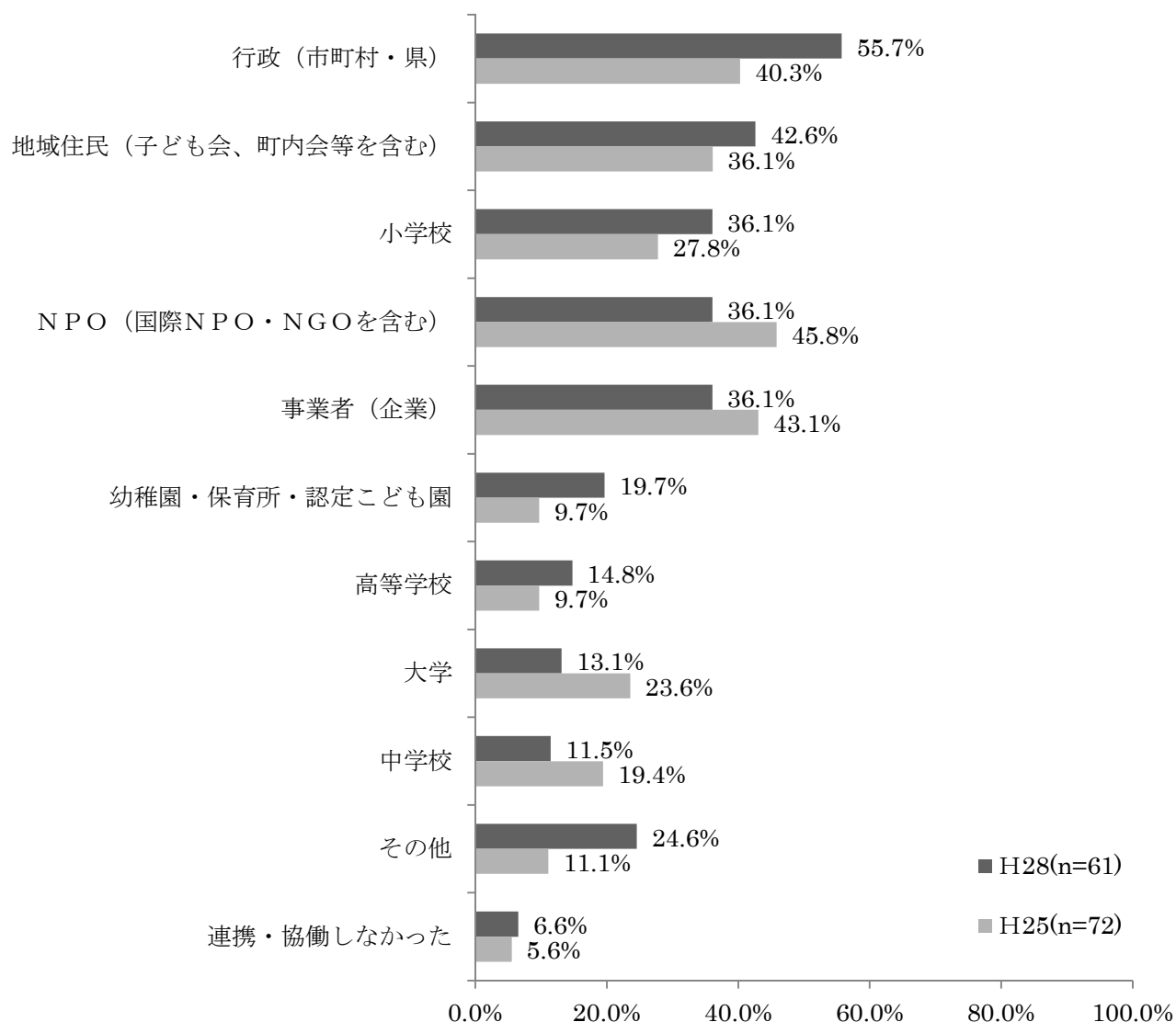
【回数】



【参加人数】



問3 環境保全活動や環境学習を実施する際、どのような主体と連携して実施しましたか。



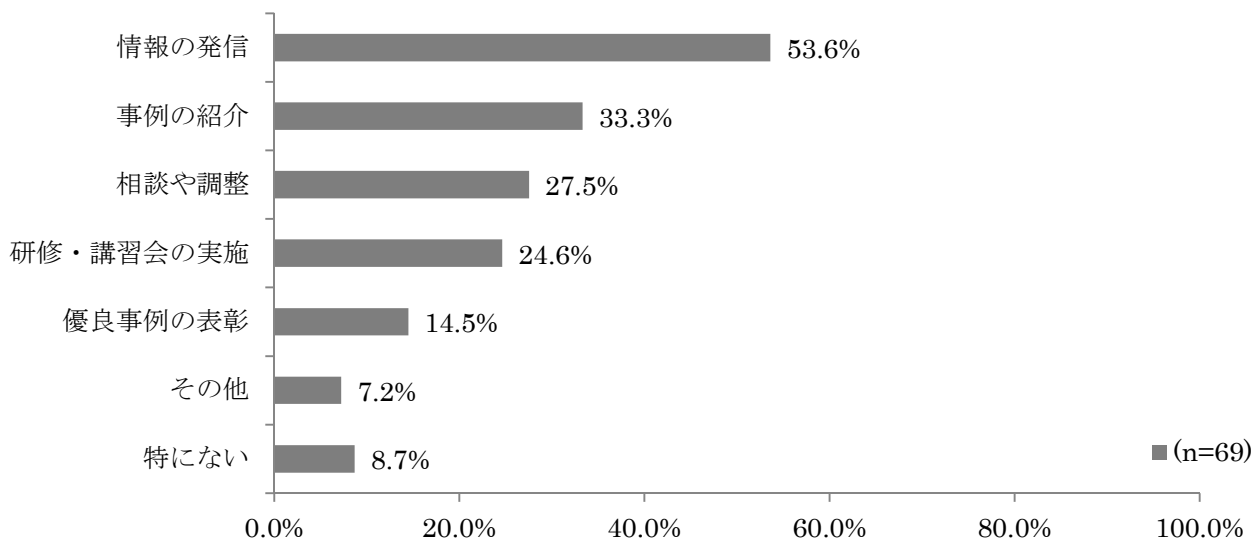
<その他の内容>

- ・市民団体、教会
- ・職業訓練機関
- ・児童養護施設
- ・山岳パトロール、自然観察員
- ・農協、青年会議所
- ・名古屋市社会福祉協議会

<連携・協働しなかった理由>

- ・独自行事として12年間実施
- ・とりあえず理事のみで実施した
- ・行政との協同する窓口を知らない

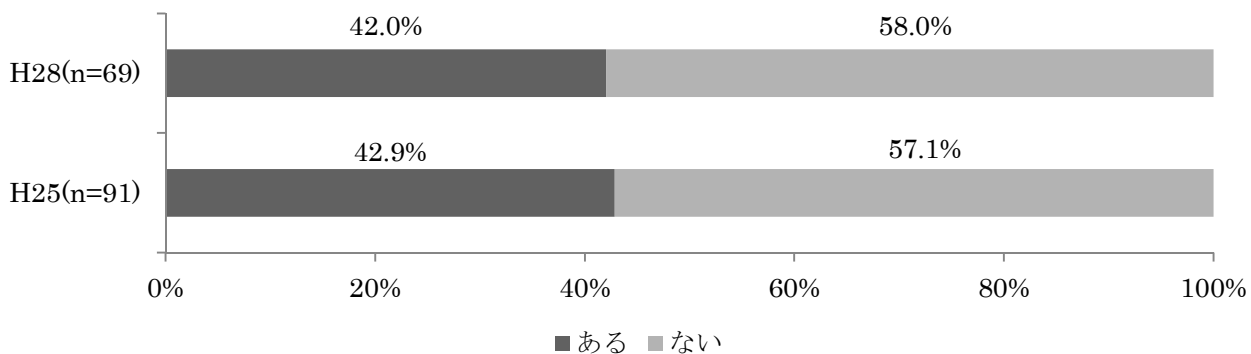
問4 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策



<その他の内容>

- ・活動に対する助成の制度をつくり、活動組織の育成を図る。
- ・環境学習の質を維持するため、学校側がきちんとした予算を確保し、学校が質の高い指導者を選ぶようにする。

問5 コーディネーターの役割を実施したことがありますか。



平成 28 年度 愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果 (学校向け)

回答状況

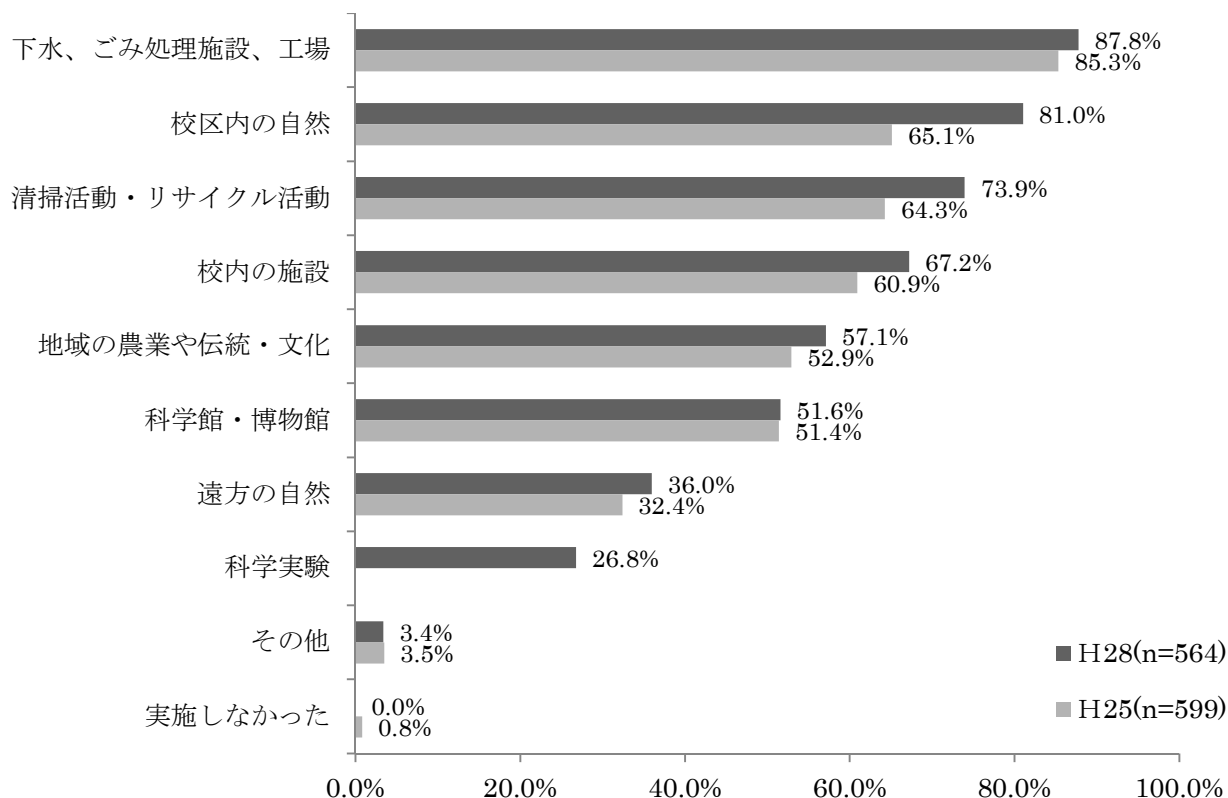
対象	依頼	回答数	回答率	H25 回答率
小学校	717 校	564 校	78.7%	83.3%
中学校	330 校	255 校	77.3%	75.4%
高等学校	206 校	149 校	72.3%	87.8%
特別支援学校	33 校	29 校 (67 件)	87.9%	89.7%

指定・登録等

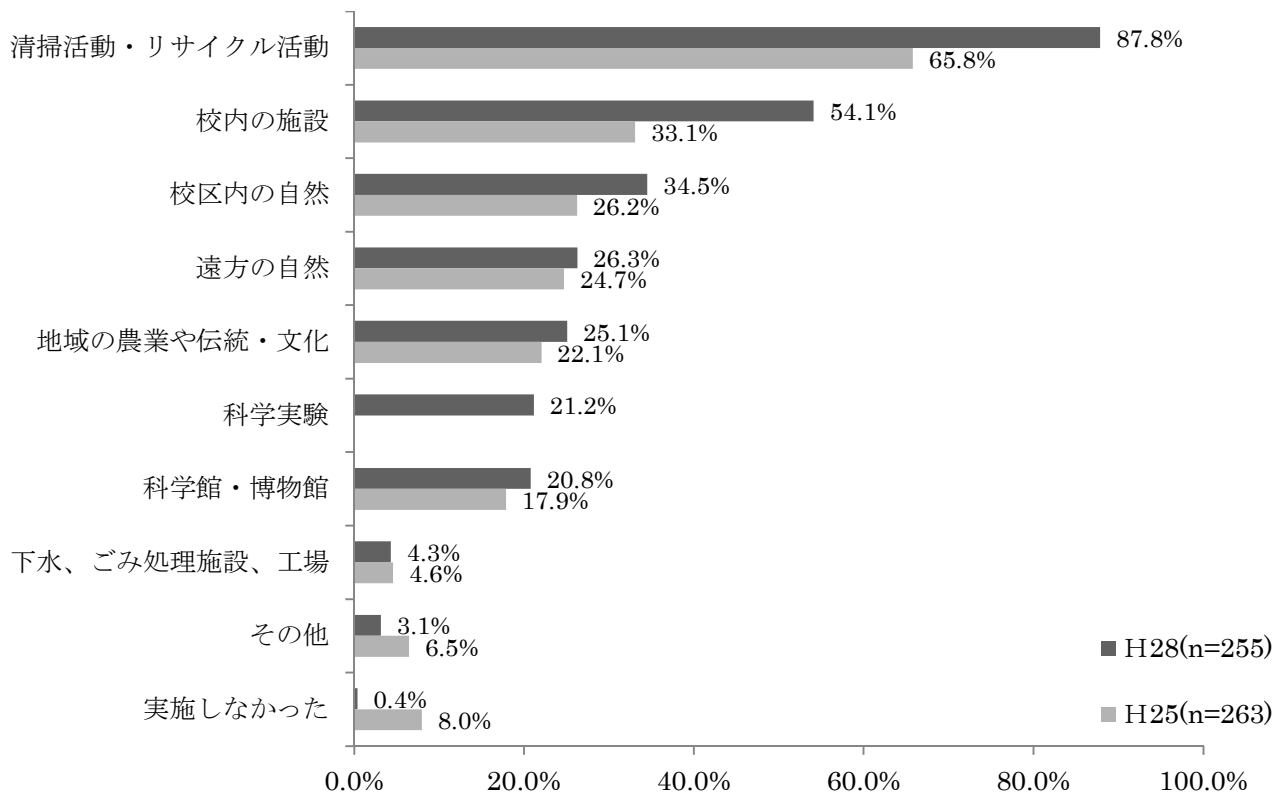
- 小 学 校 : ・ユネスコスクール 59 校
 ・スーパーサイエンススクール 5 校 (岡崎市)
 ・愛知県野生生物保護モデル校
 ・こどもエコクラブ
- 中 学 校 : ・ユネスコスクール 28 校
 ・青少年赤十字
 ・エコスクール
 ・みどりの少年団
- 高 等 学 校 : ・ユネスコスクール 9 校
 ・スーパーサイエンスハイスクール 6 校
 ・スーパーグローバルハイスクール 5 校
 ・あいちイングリッシュハブスクール 4 校
 ・スーパープロフェッショナルハイスクール 2 校
 ・長久手市社会福祉協力校
 ・原子力エネルギー教育支援事業指定校
 ・スーパー食育スクール
- 特別支援学校 : ・ユネスコスクール 6 校

問1 どのような実体験を取り入れた環境教育を実施しましたか。

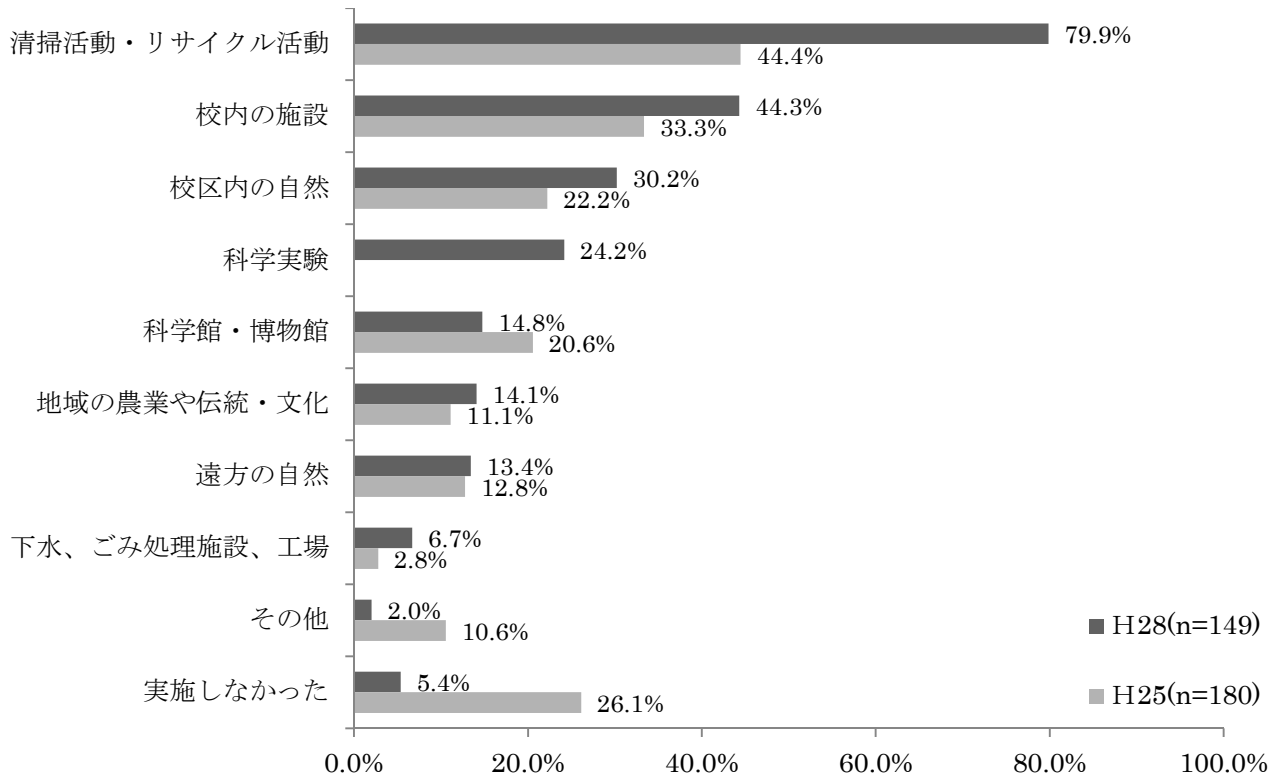
【小学校】



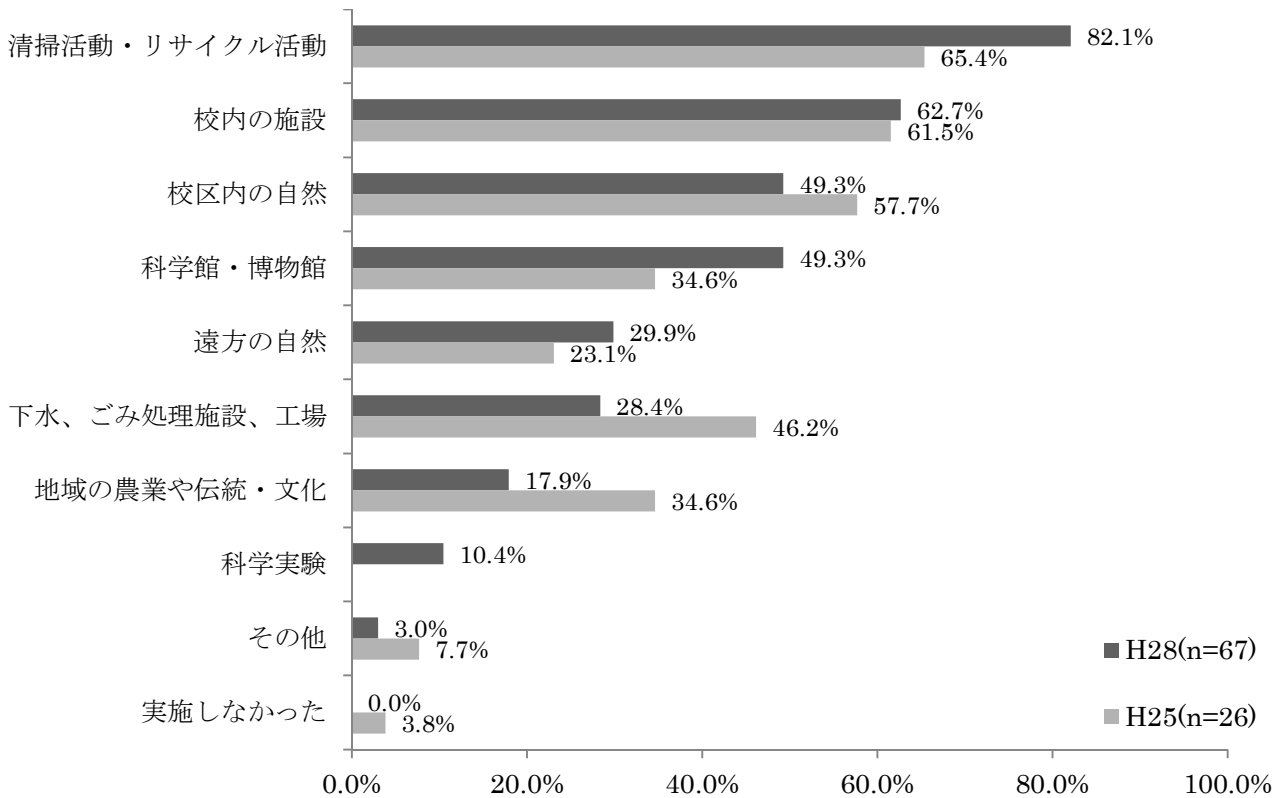
【中学校】



【高等学校】

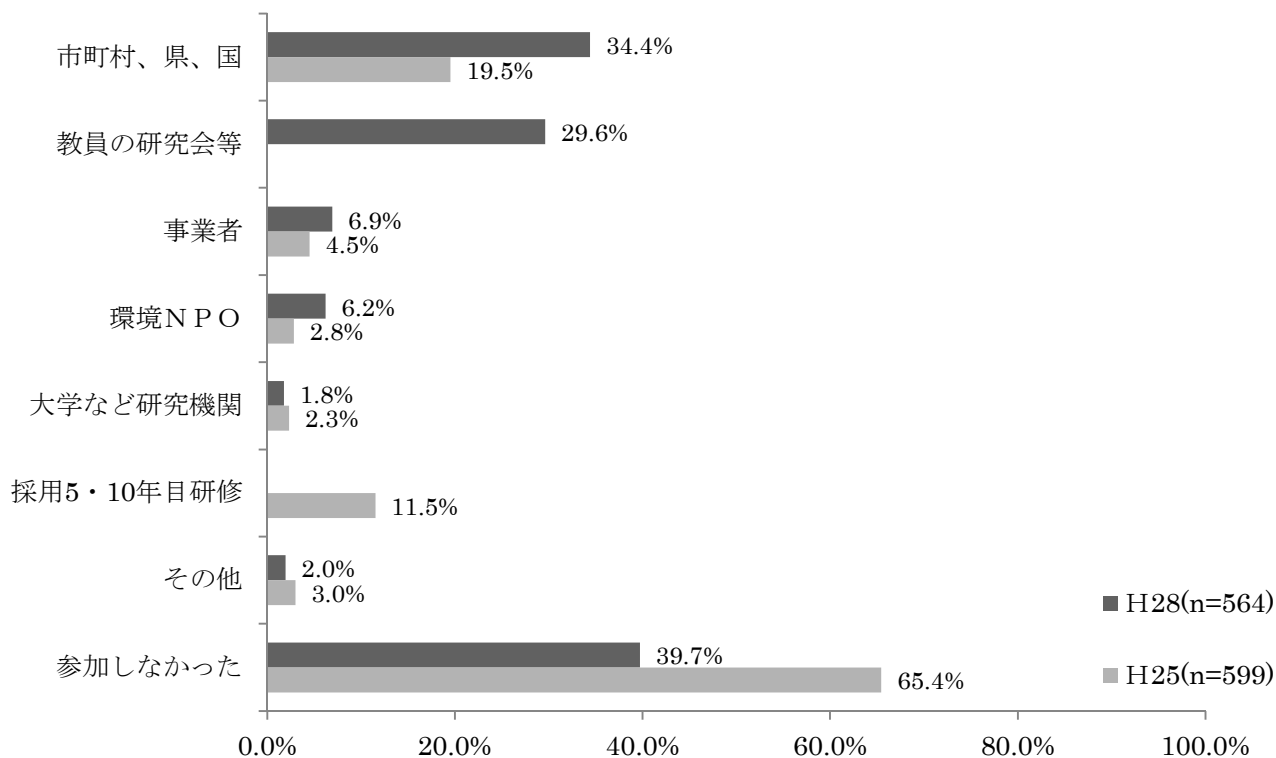


【特別支援学校】

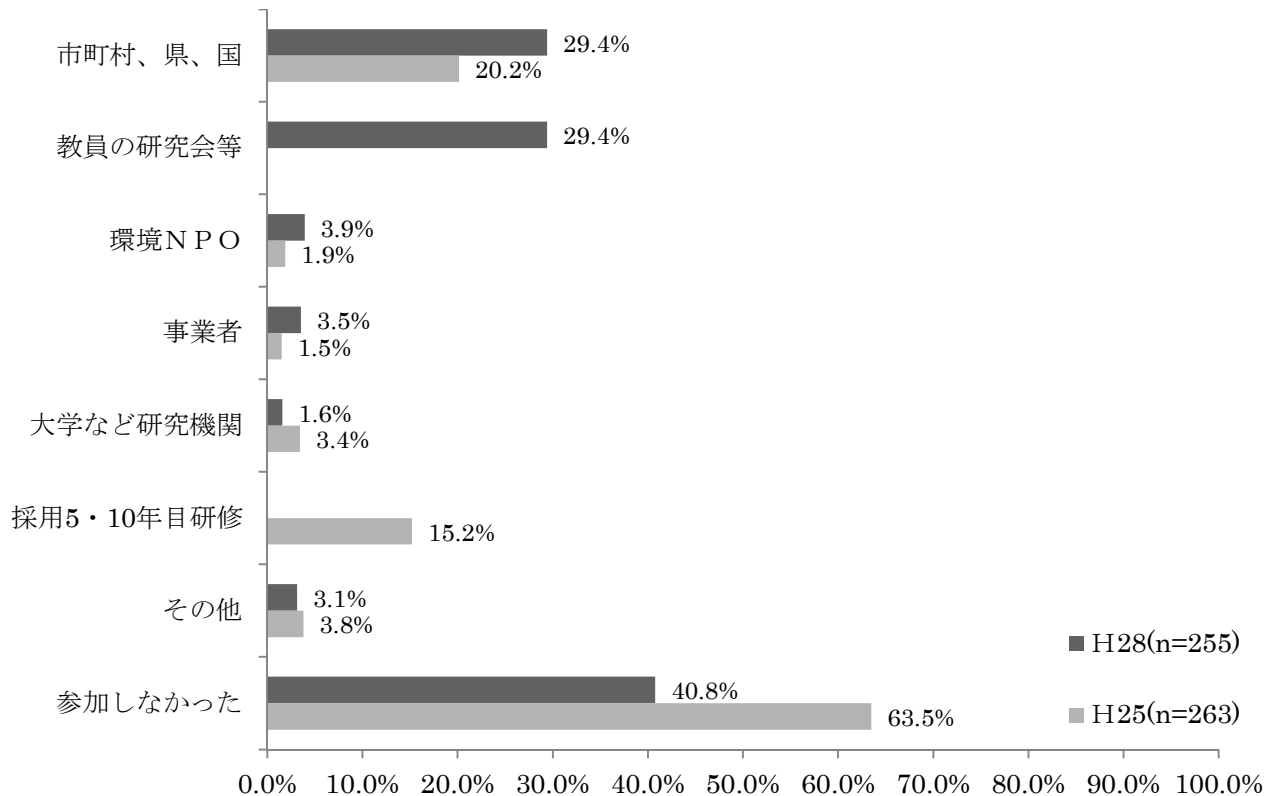


問2 どのような環境教育に関する研修等に参加しましたか。

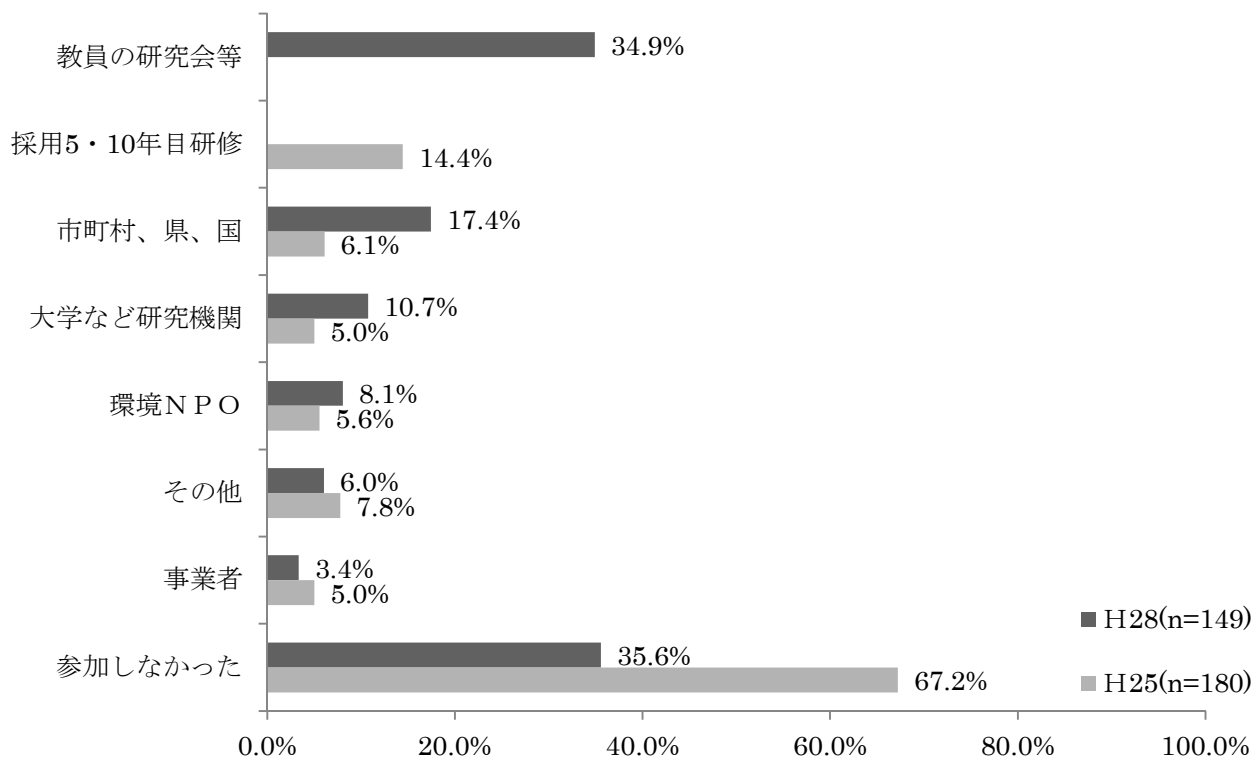
【小学校】



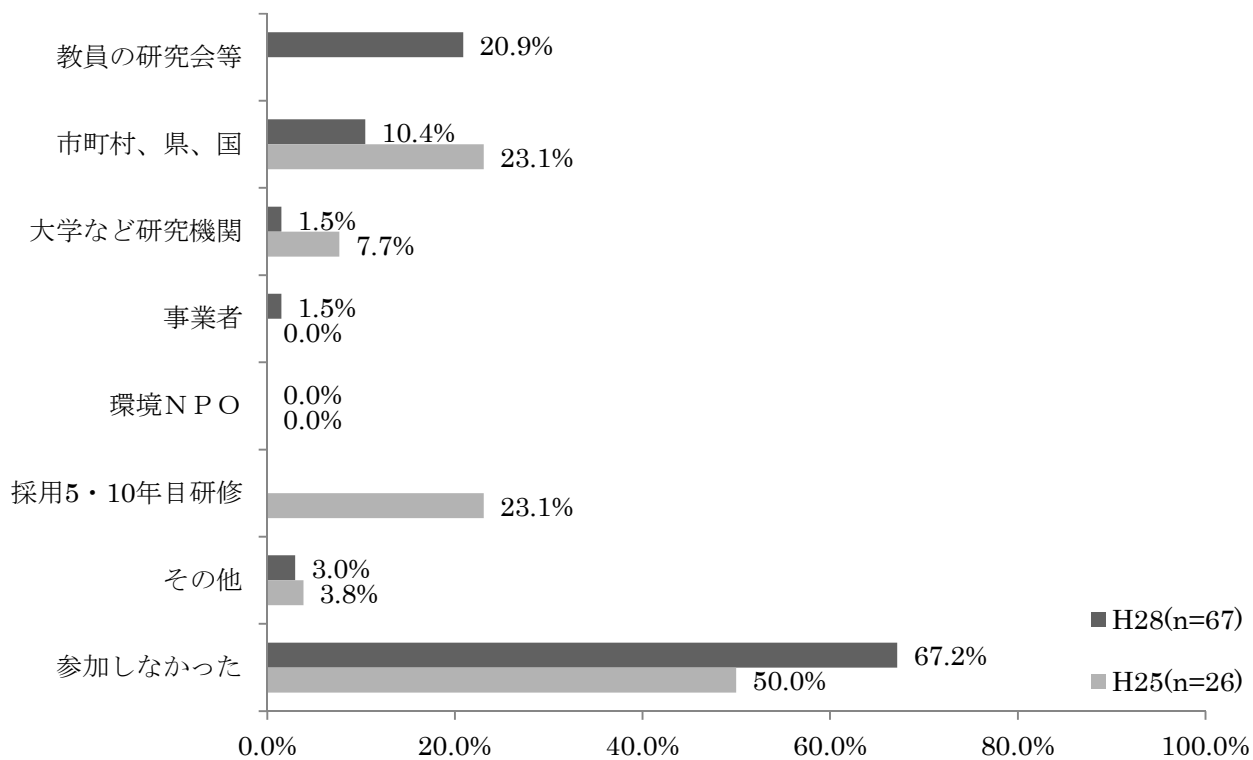
【中学校】



【高等学校】

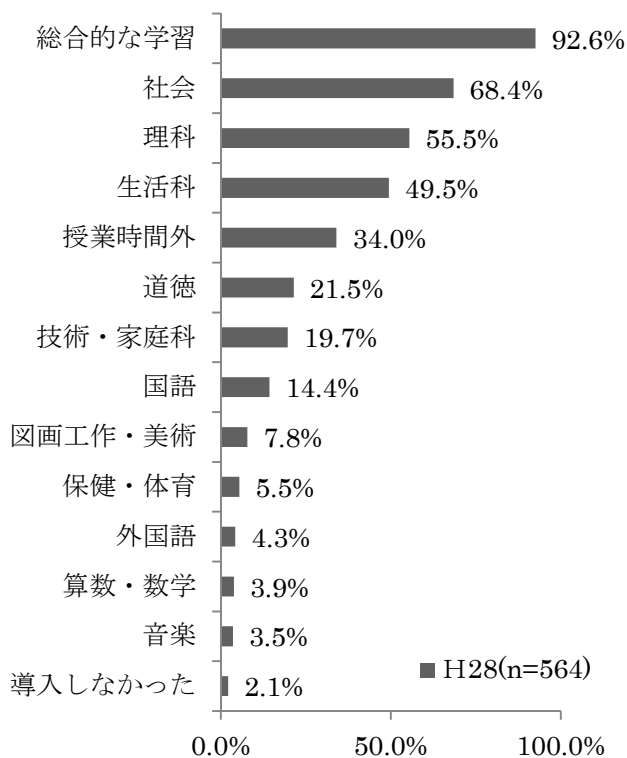


【特別支援学校】

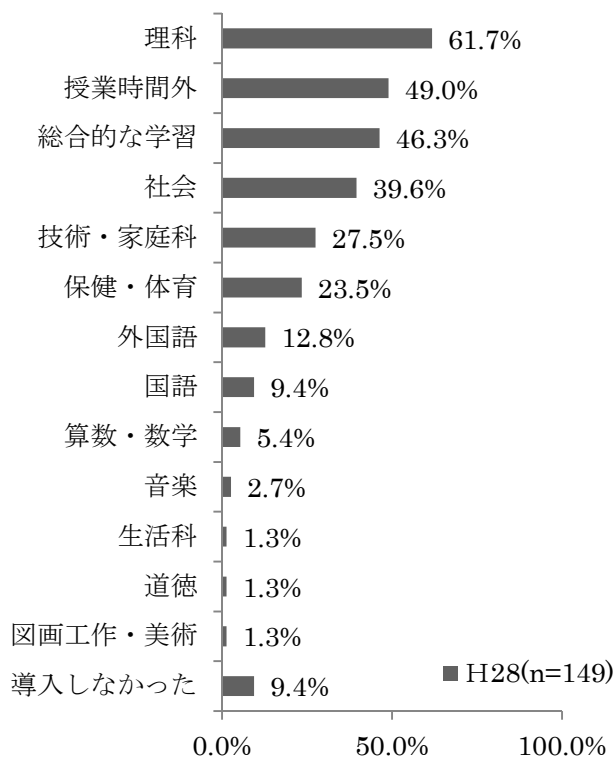


問3 どの教科でESDの視点を導入しましたか。

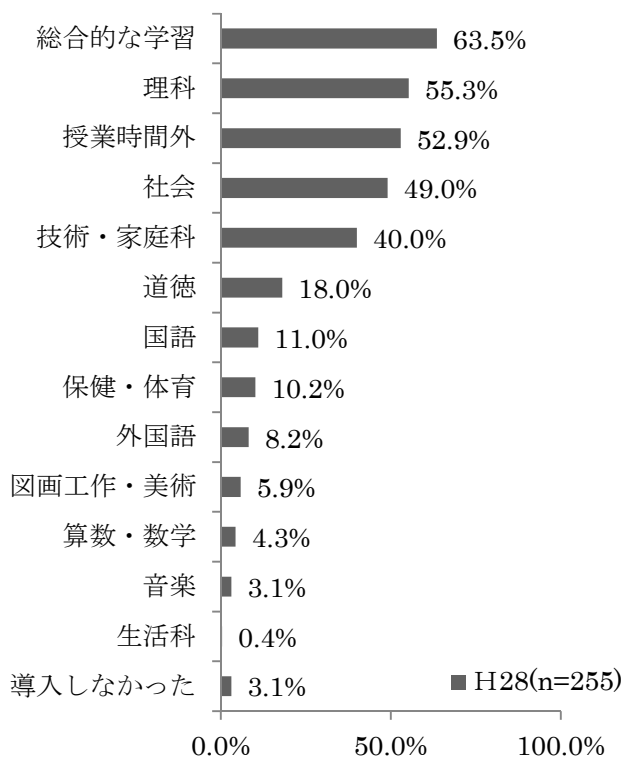
【小学校】



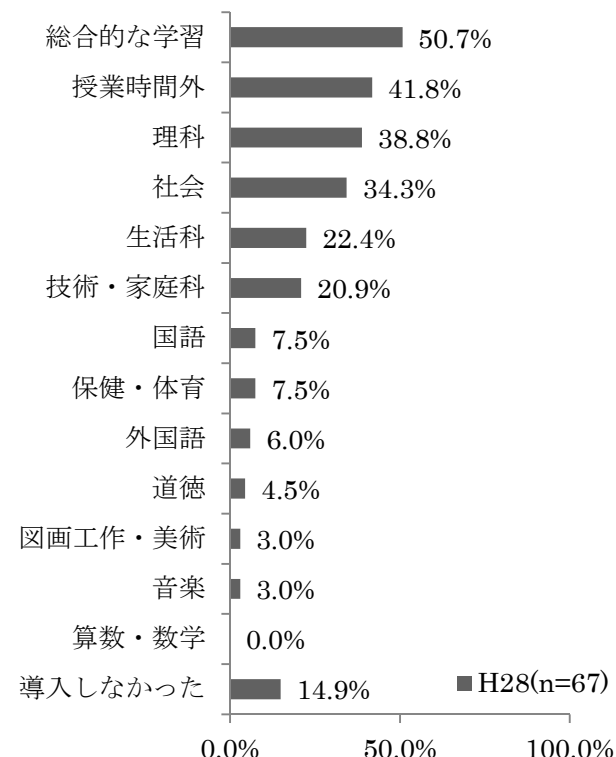
【高等学校】



【中学校】

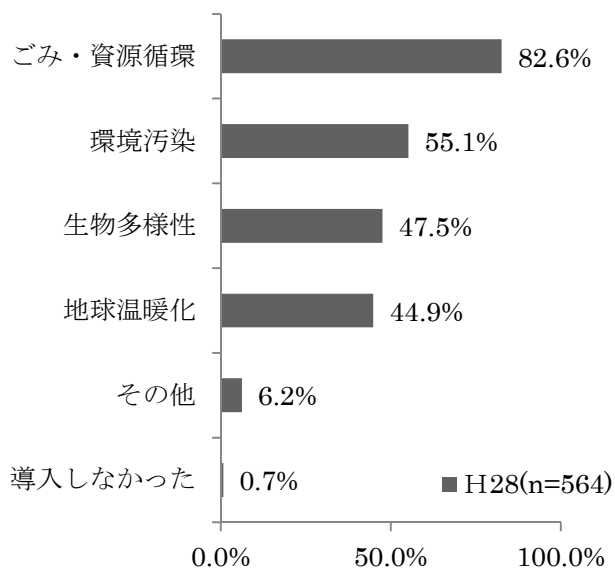


【特別支援学校】

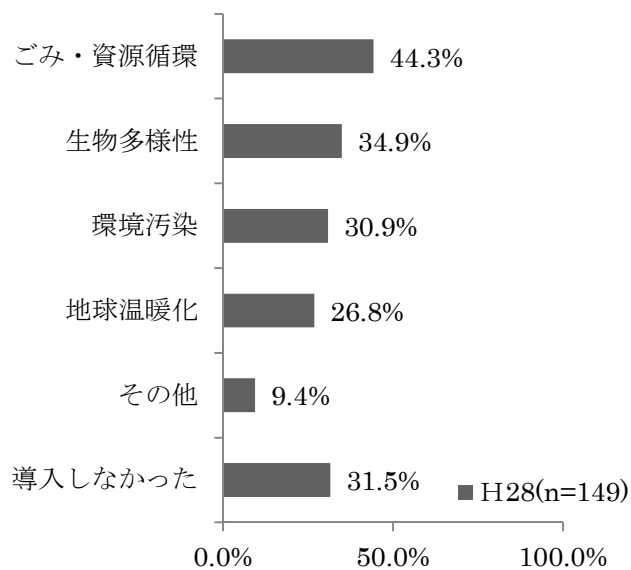


問4 総合的な学習でどのような環境の視点を導入しましたか。

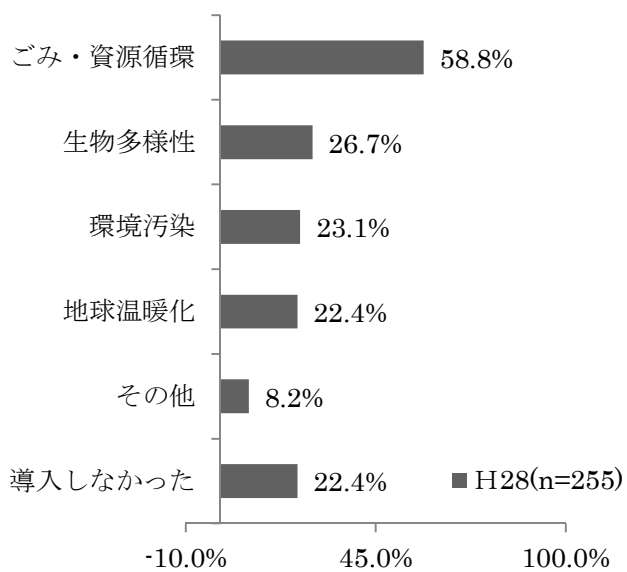
【小学校】



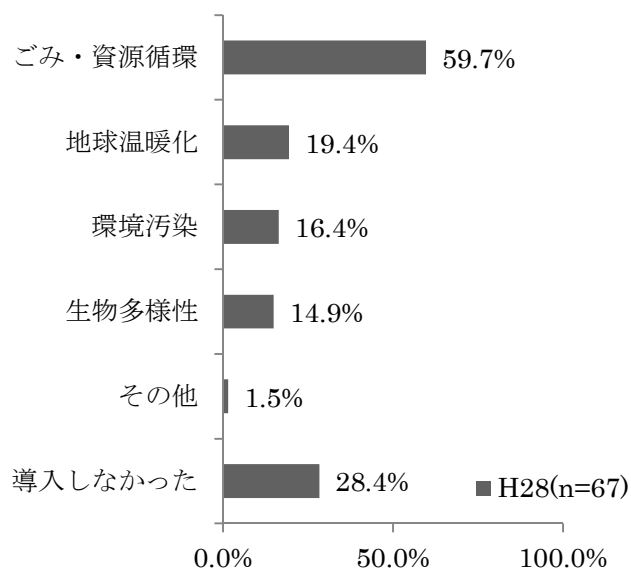
【高等学校】



【中学校】

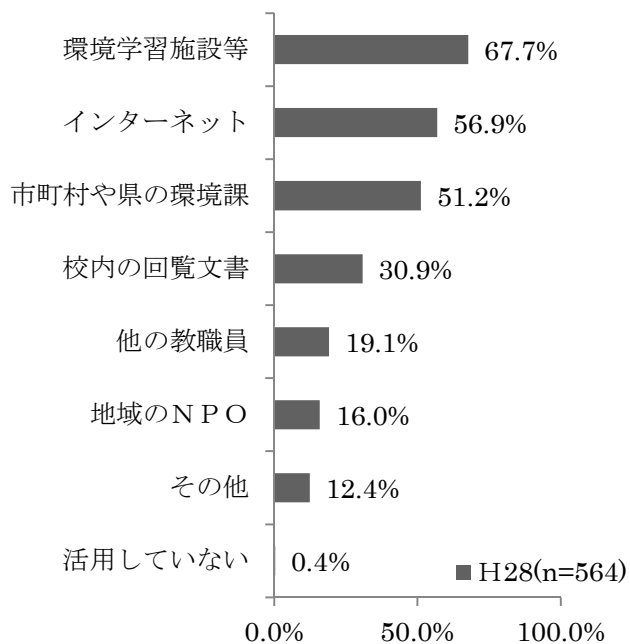


【特別支援学校】

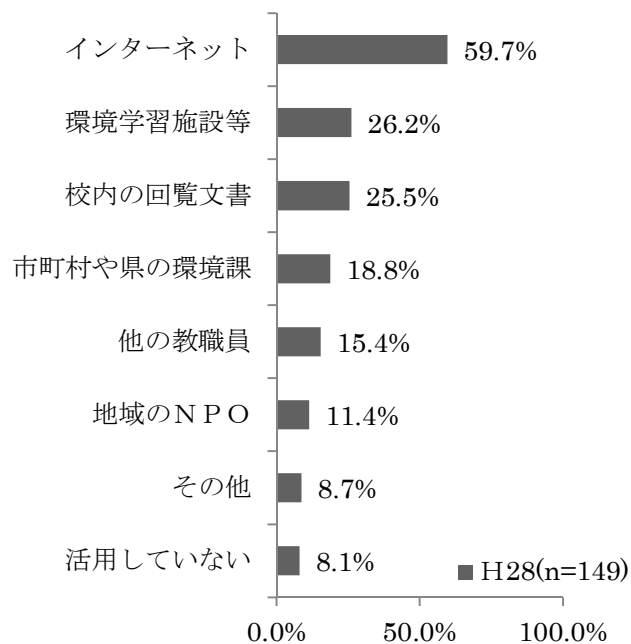


問5 環境学習の情報収集にどのような情報源を活用しましたか。

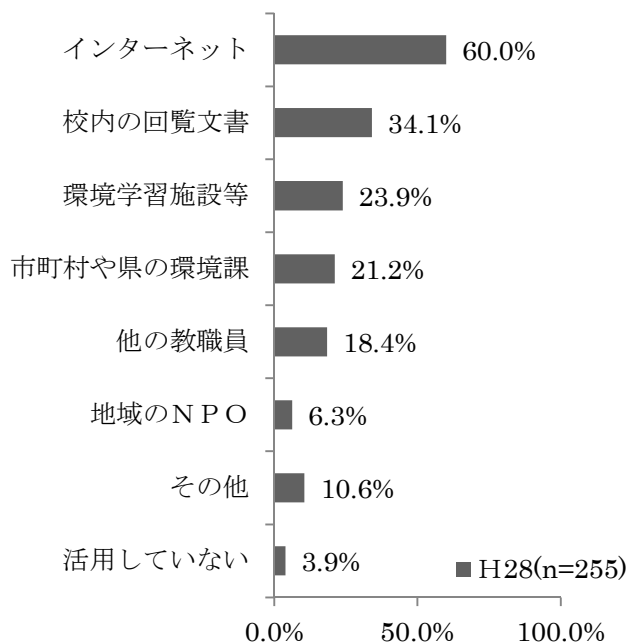
【小学校】



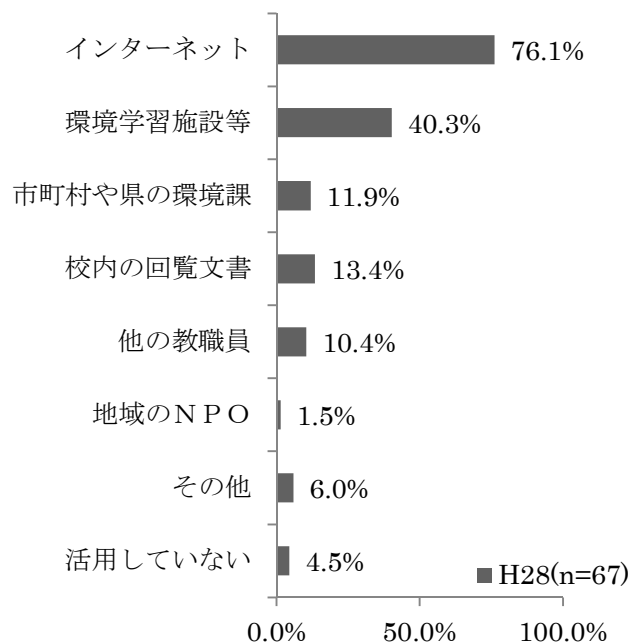
【高等学校】



【中学校】

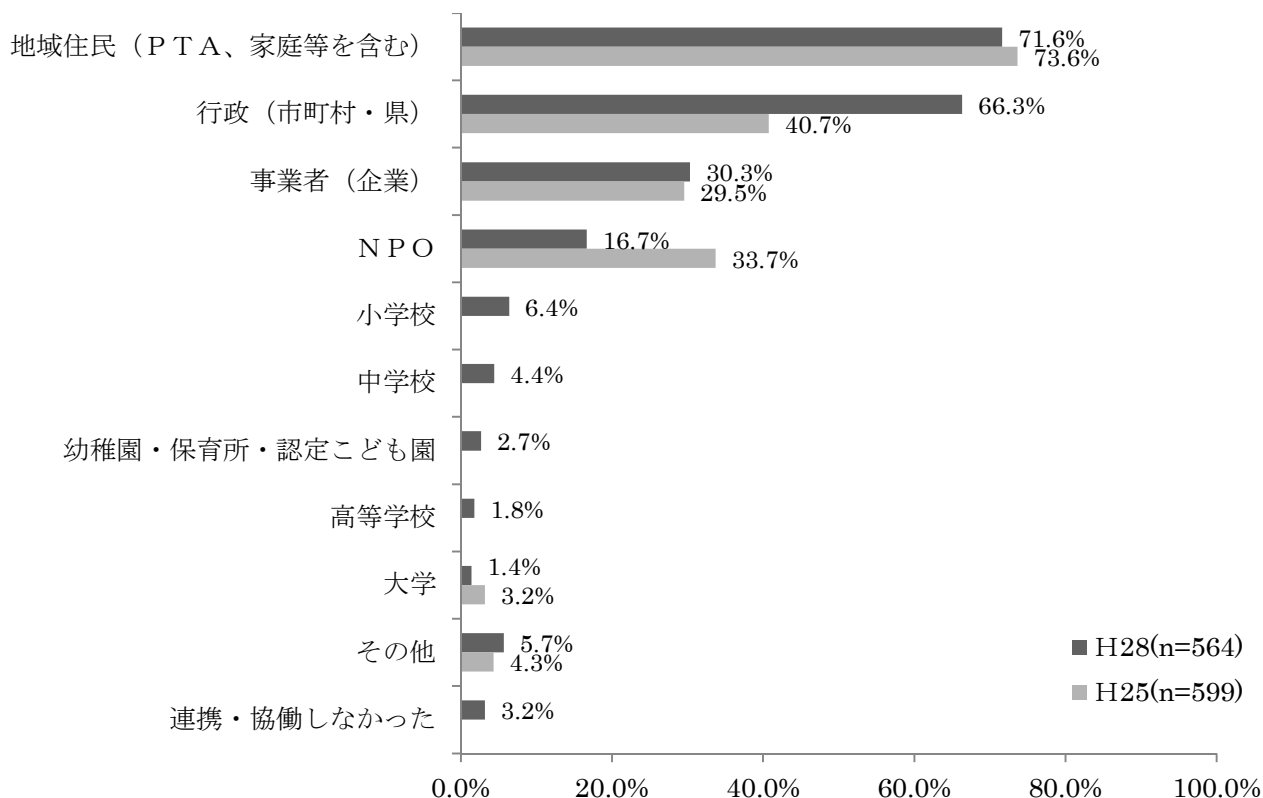


【特別支援学校】

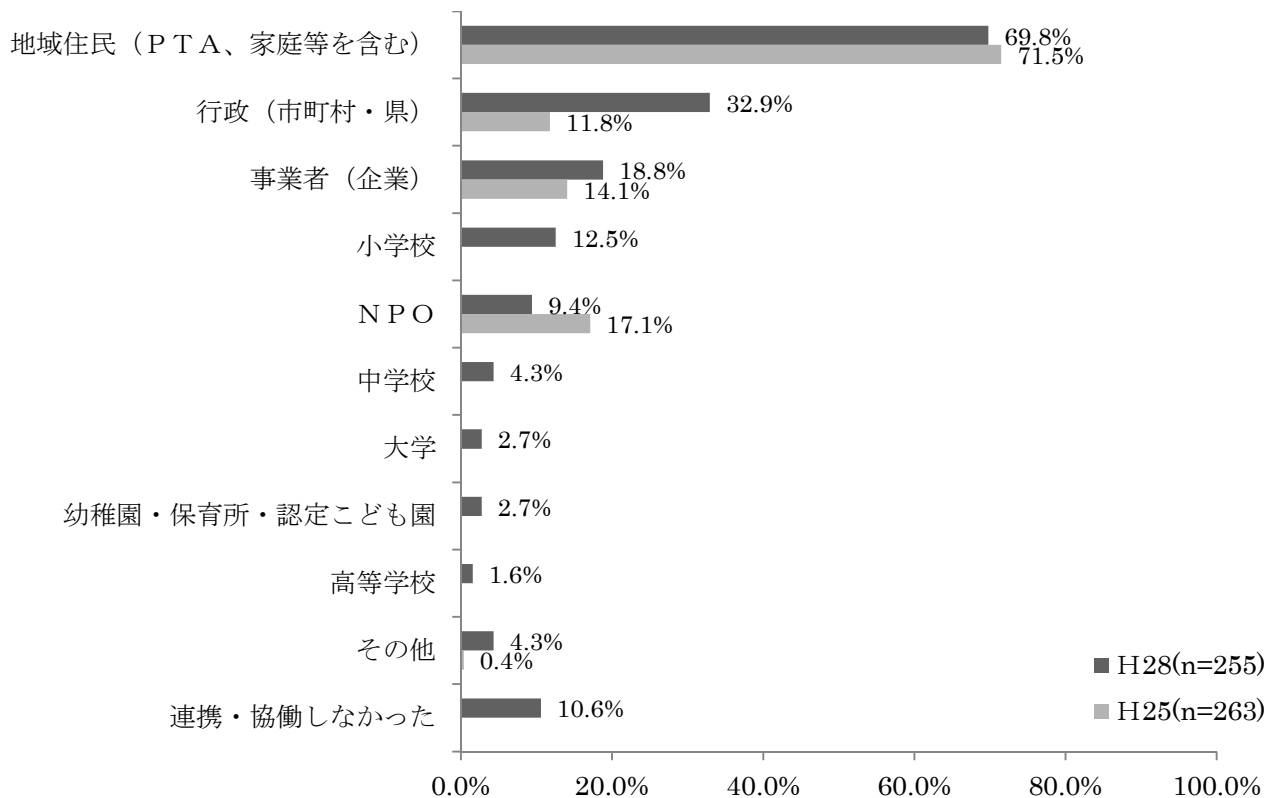


問6 どのような主体と連携・協働しましたか。

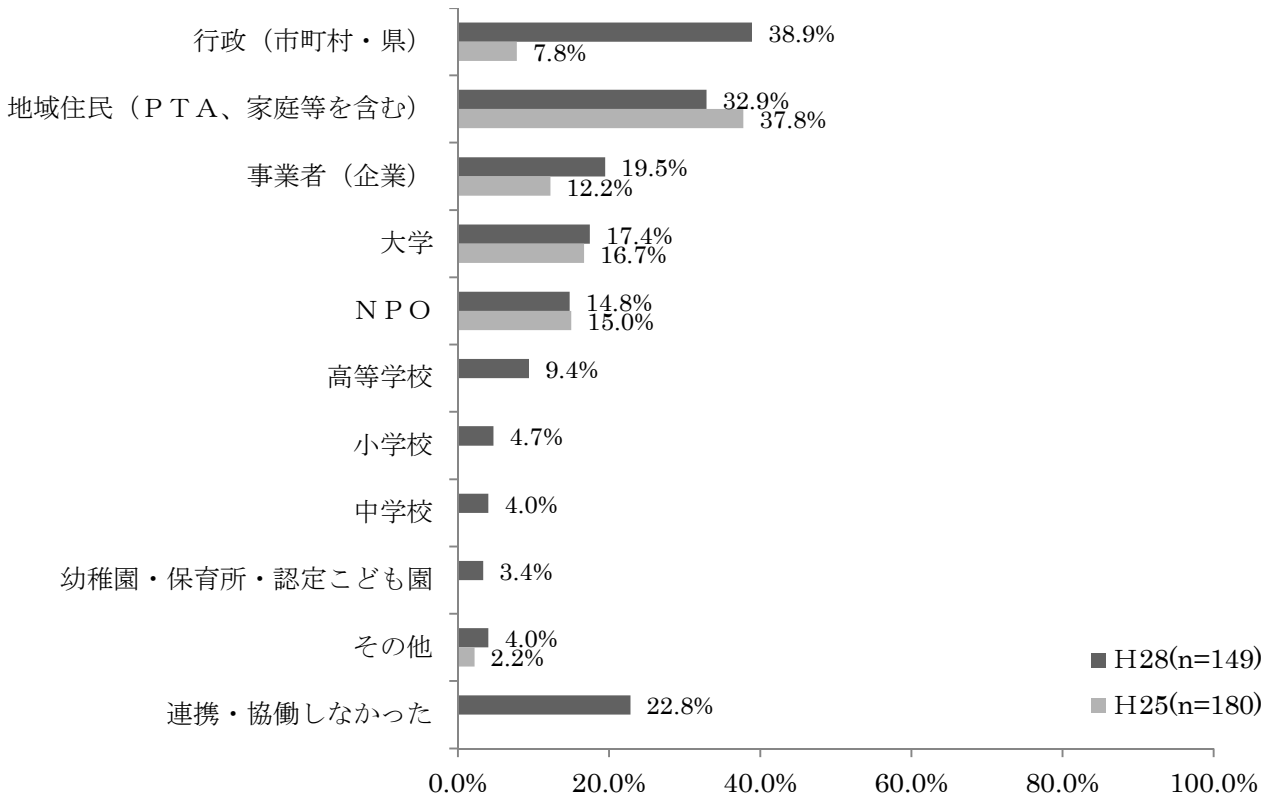
【小学校】



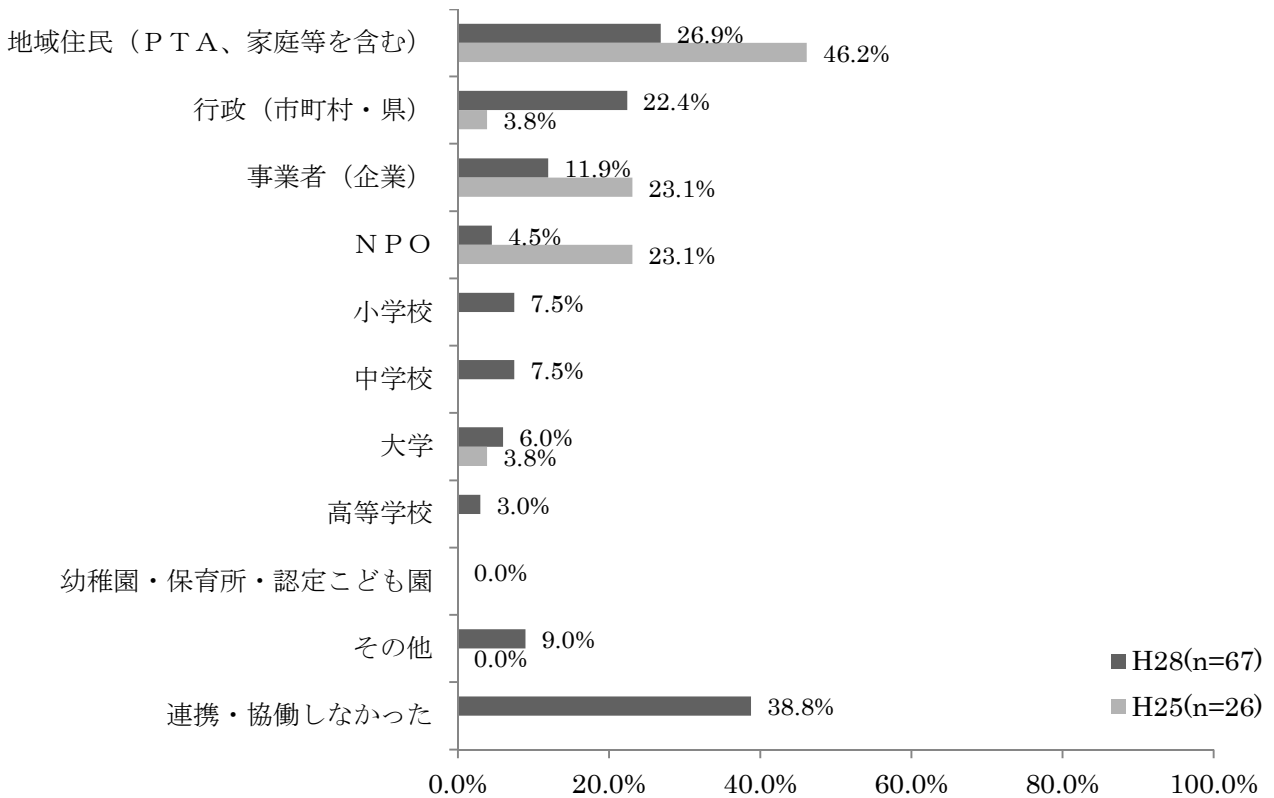
【中学校】



【高等学校】

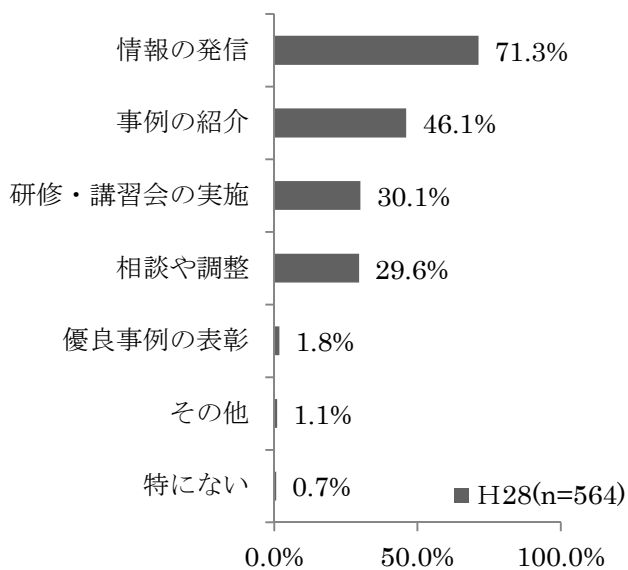


【特別支援学校】

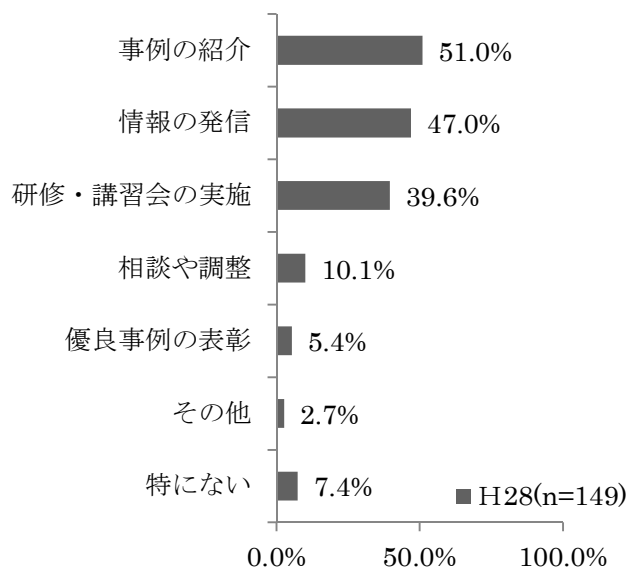


問7 連携・協働を推進するうえで、愛知県が力を入れるべき施策

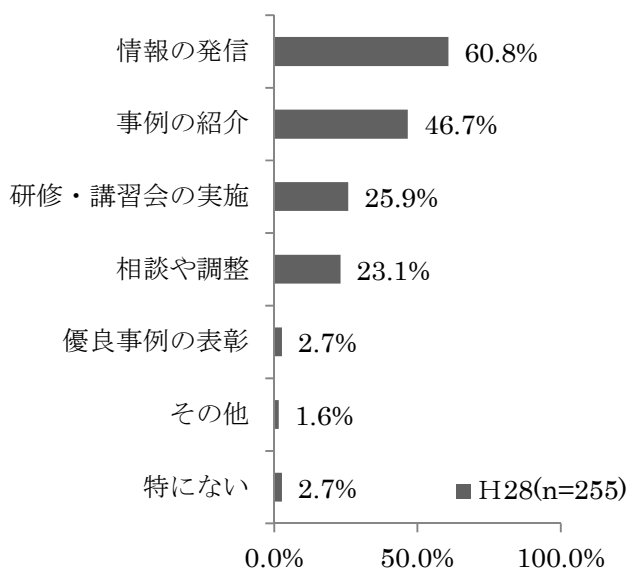
【小学校】



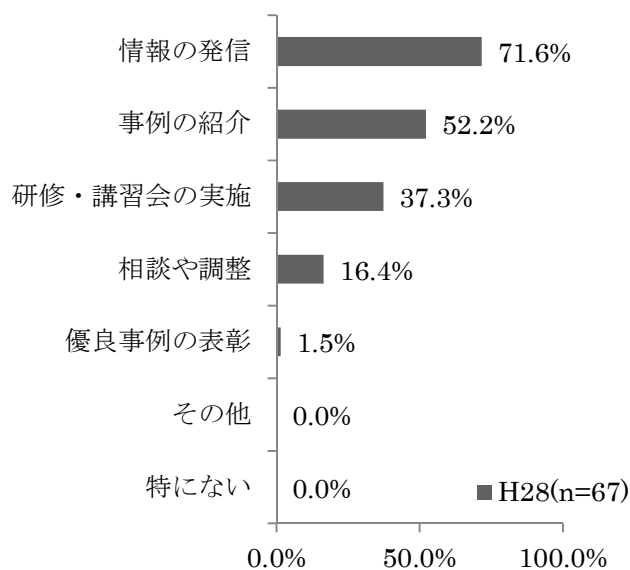
【高等学校】



【中学校】



【特別支援学校】

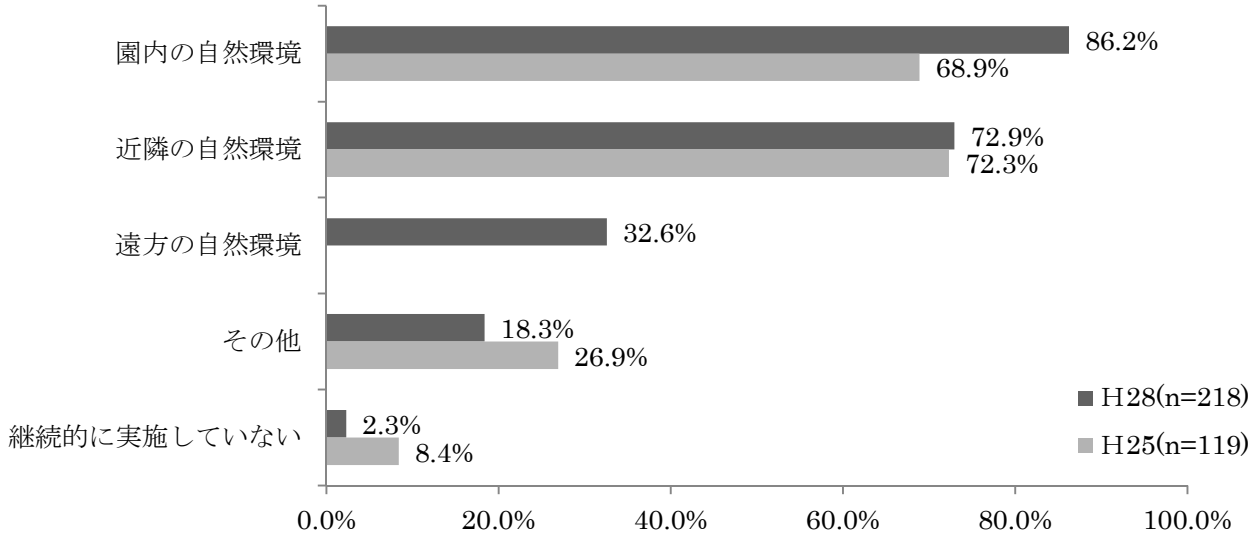


平成 28 年度 愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果 (幼稚園・認定こども園向け)

回答状況

実施年度	対象件数	回答件数	回答率
平成 28 年度	421 件	218 件	51.8%
平成 25 年度	421 件	119 件	28.3%

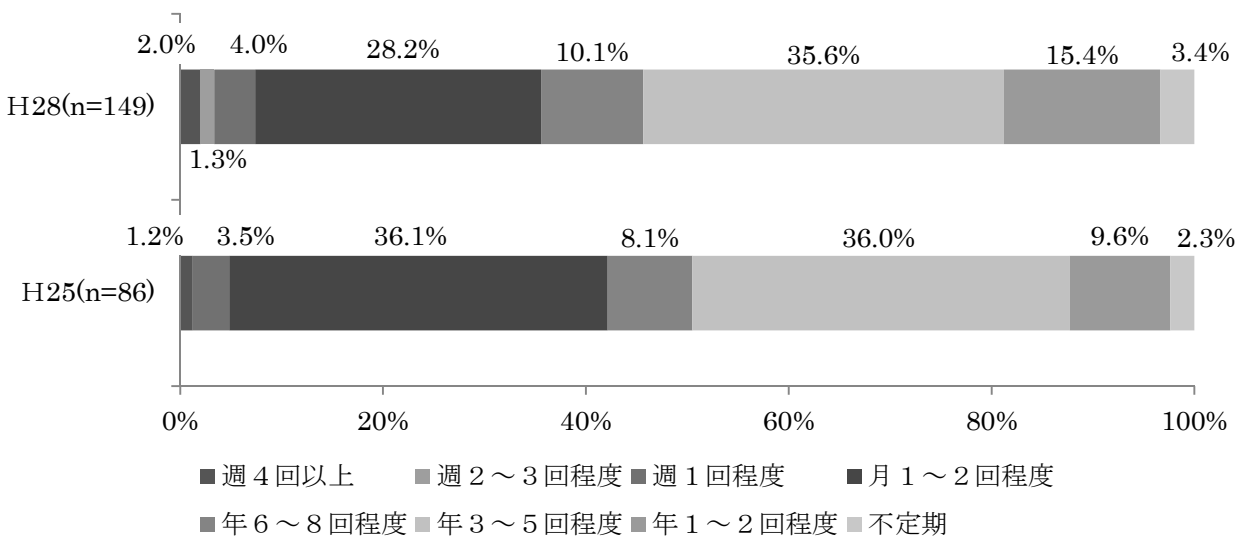
問 1 (1) 自然体験をどのような場所で行いましたか。



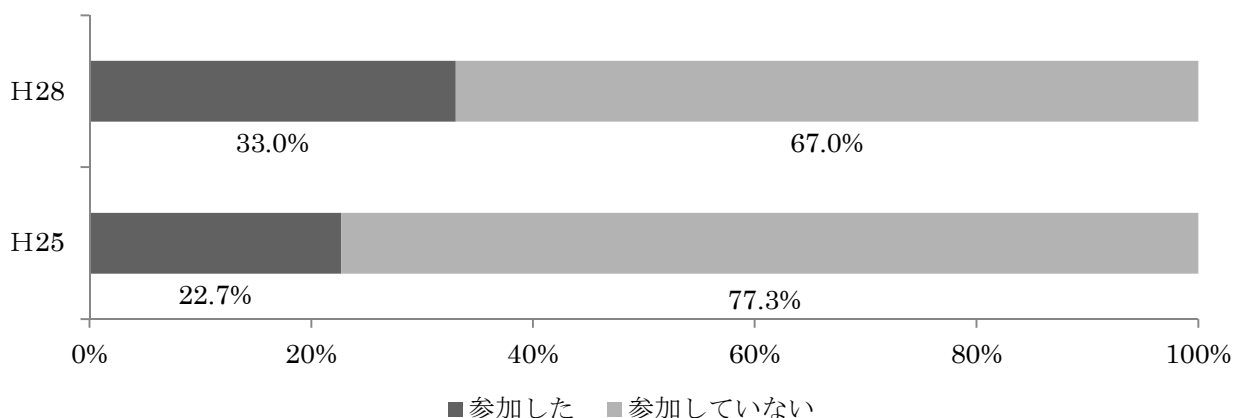
<その他の内容>

- ・大学の敷地内 (附属幼稚園)
- ・農場や畑での収穫体験
- ・近くの牧場、移動動物園
- ・通園路の自然

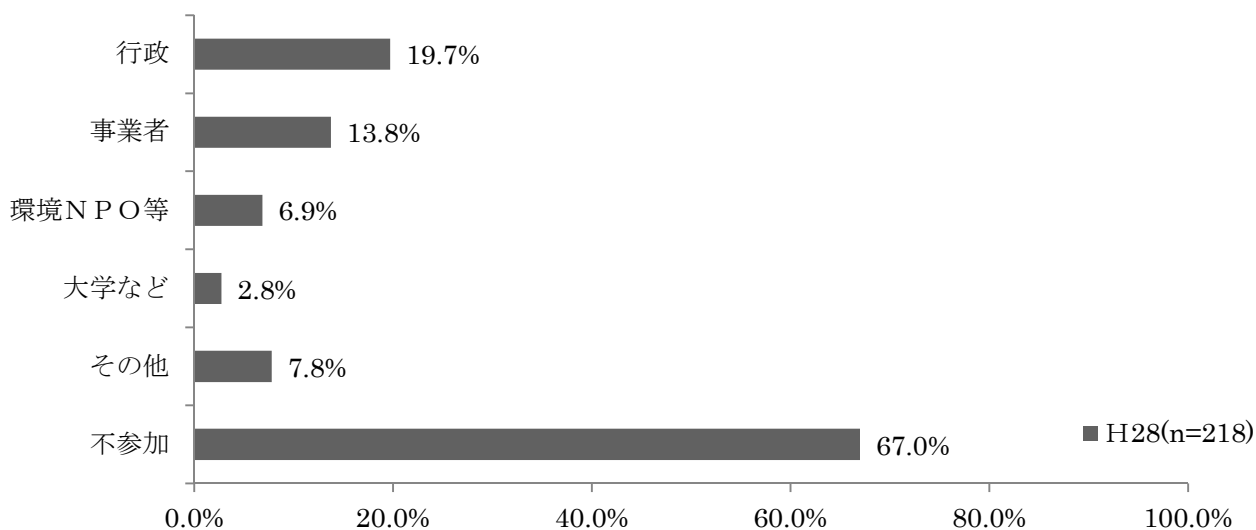
(2) 近隣の自然での実施頻度 (回答数 149 件)



問2 環境教育や自然体験に関する研修に参加しましたか。



【参加した研修の実施者】



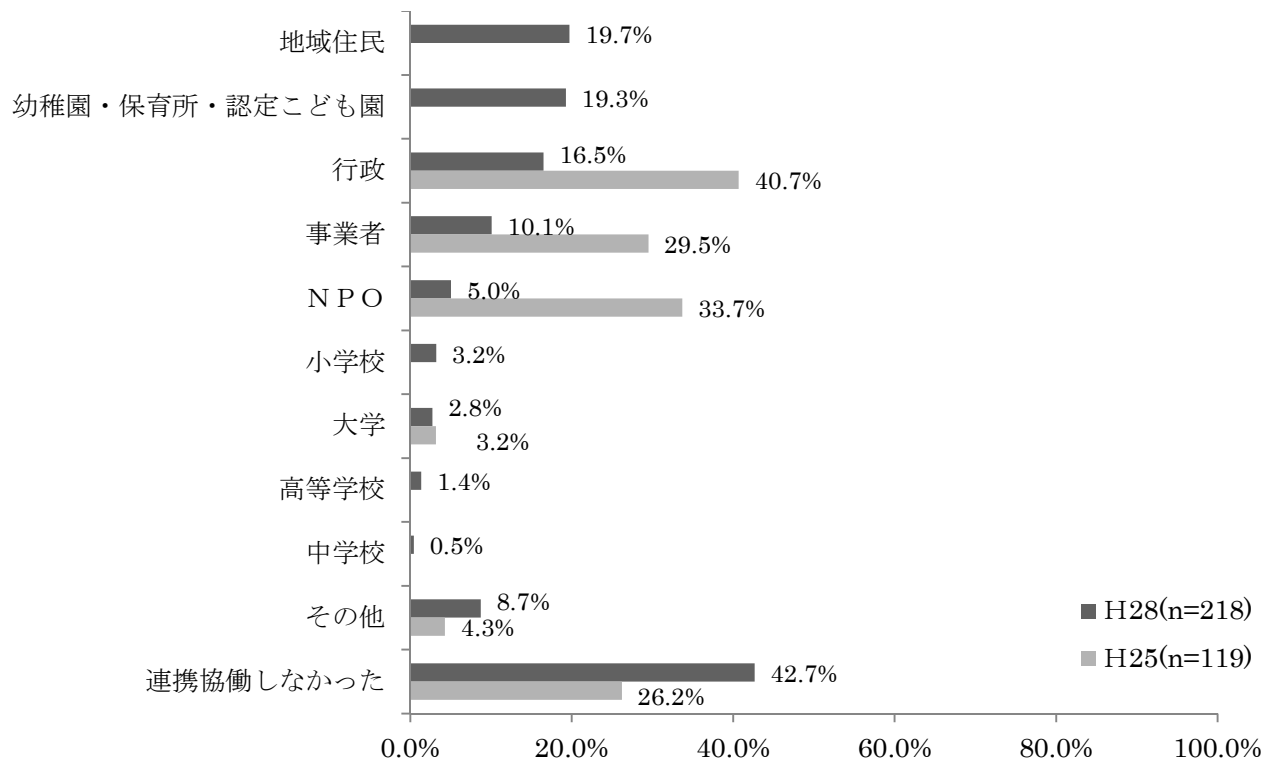
<その他の内容>

- ・愛知県私立幼稚園連盟
- ・ライオンズクラブ
- ・地域の公園での花のアレンジ講習

<参加しなかった理由>

- ・研修会の情報を取得していない
- ・必要性を感じないため
- ・自園の取り組み活動に満足していたため
- ・多領域の研修に参加しており余裕がないため

問3 自然体験を実施する際、どのような主体と連携して実施しましたか。



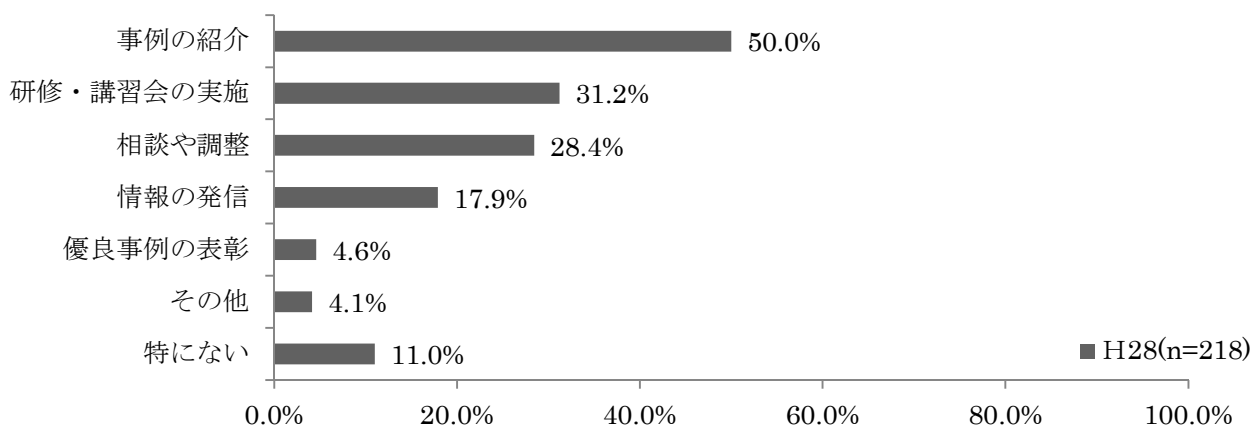
<その他の内容>

- ・日本ハンギングバスケット協会
- ・専門学校
- ・名古屋市民御岳休暇村
- ・農協、地域の農家

<参加しなかった理由>

- ・研修会の情報を取得していない
- ・必要性を感じないため
- ・自園の取り組み活動に満足していたため
- ・多領域の研修に参加しており余裕がないため

問4 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策



<その他の内容>

- ・紙芝居 DVD
- ・補助金等

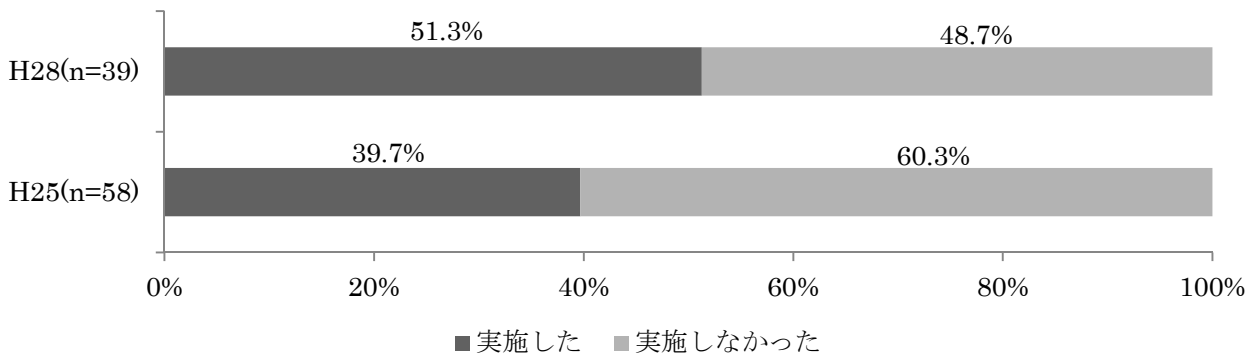
平成 28 年度 愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果 (大学向け)

回答状況

実施年度	対象件数	回答件数	回答率
平成 28 年度	65 件	39 件	60.0%
平成 25 年度	72 件	58 件	80.6%

※発送方法の変更により、対象件数が減少した。

問 1 環境保全・環境教育や ESD に関する研究や講座、イベント等を実施しましたか。

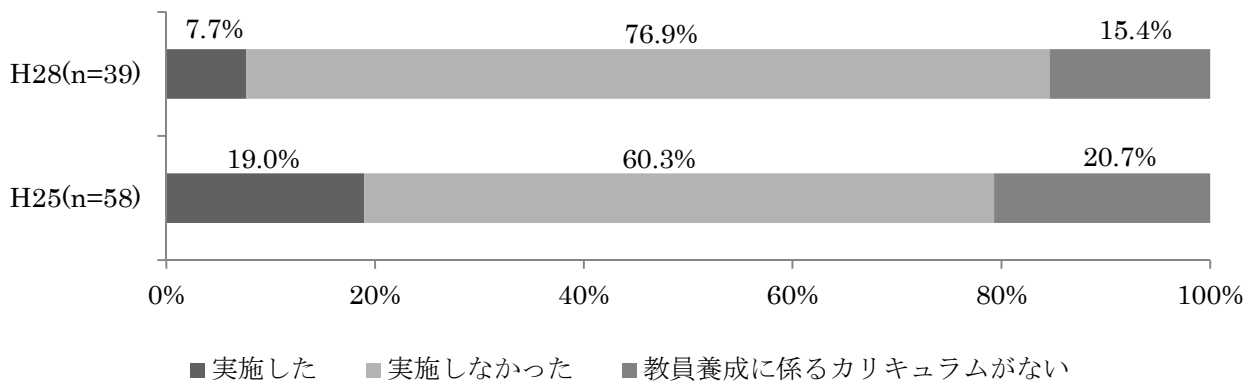


<実施しなかった理由>

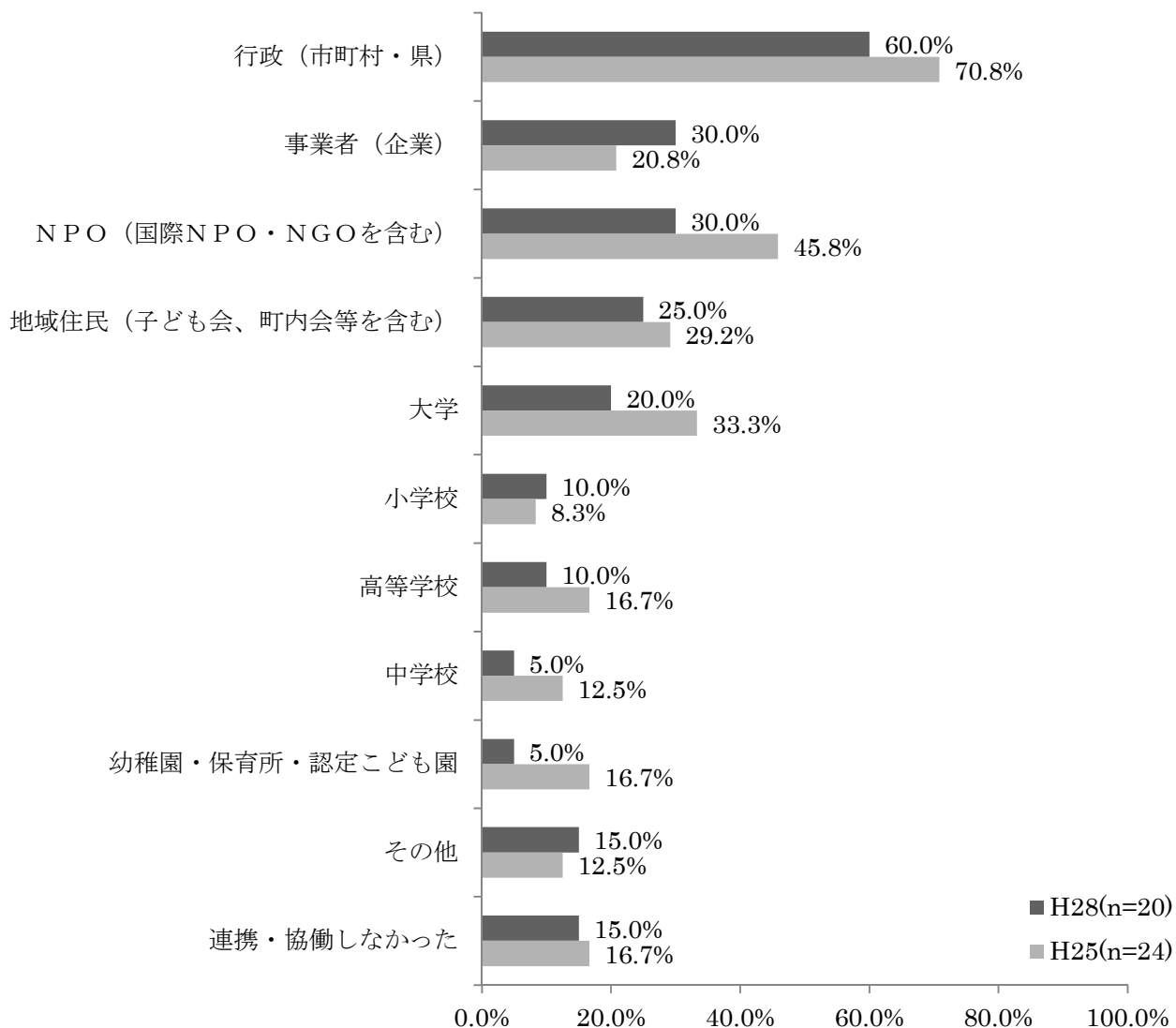
- ・ 教員個人としては研究等しているが、大学としては実施していない。
- ・ 実施するための準備がまだ整っていないため
- ・ 地域との連携を図り、学生と共に進めていく予定
- ・ 環境に関する専任教員が不在のため
- ・

問 2 環境に関する研究・講座・イベントの内容（省略）

問 3 教員養成カリキュラムにおいて、環境教育の指導方法を教授するような授業を実施しましたか。



問4 環境保全活動や環境教育を実施する際、どのような主体と連携・協働して実施しましたか。



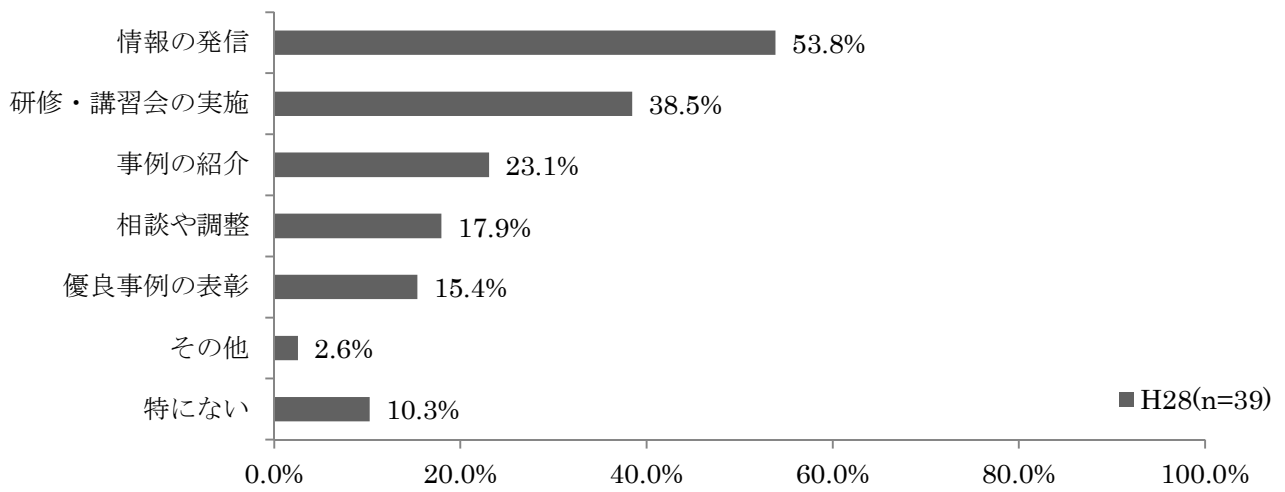
<その他の内容>

- ・博物館
- ・国連食糧農業機関

<連携・協働しなかった理由>

- ・本学の授業として行ったため
- ・本学学生に対する教育・研究を目的としているため。

問5 連携・協働を推進するうえで愛知県が力を入れるべき施策



<その他の内容>

- ・研究助成の設立

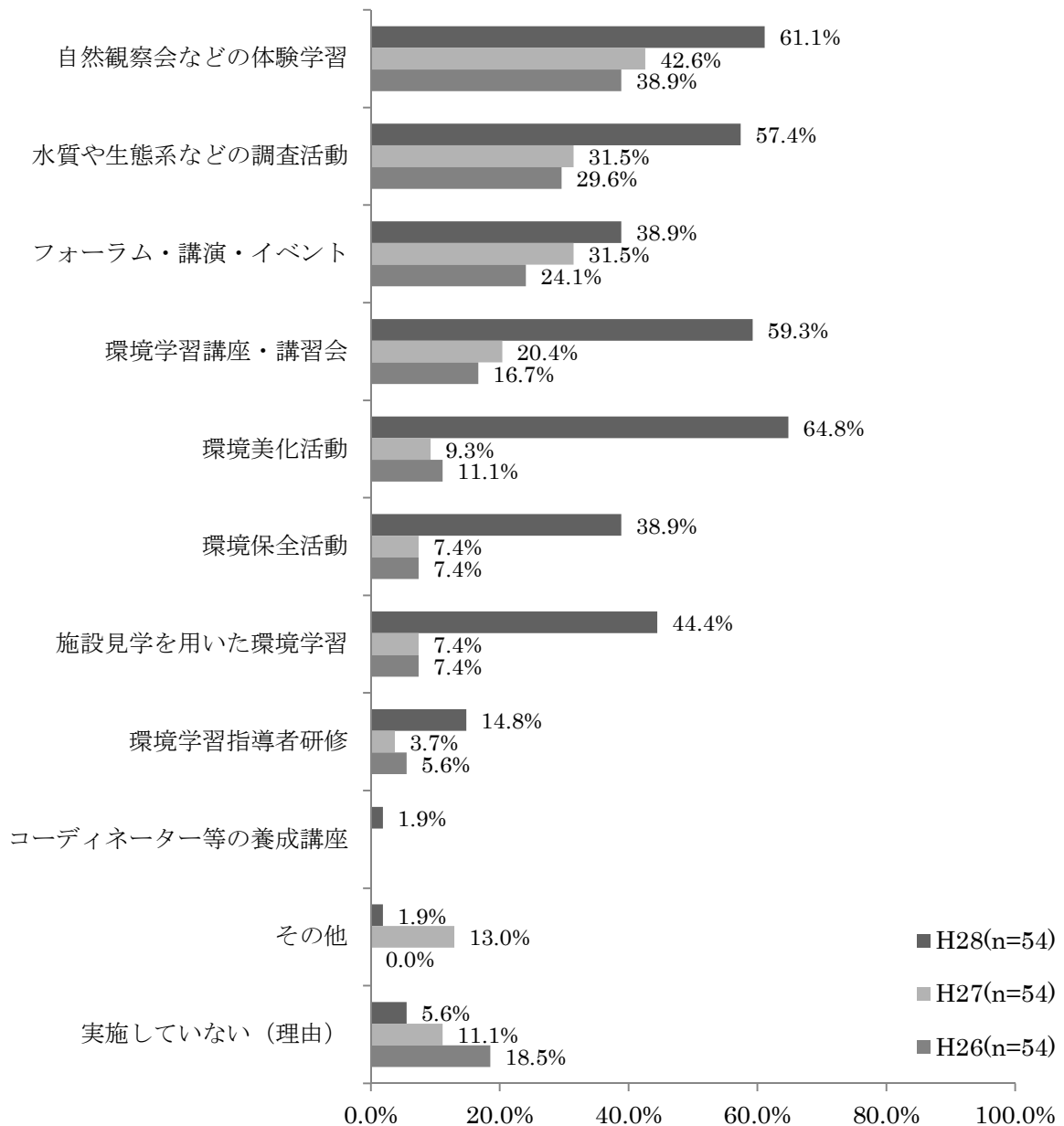
平成 28 年度 愛知県環境学習等行動計画に関するアンケート結果 (市町村向け)

回答状況

実施年度	対象件数	回答件数	回答率
平成 28 年度	54 件	54 件	100.0%
平成 27 年度			
平成 26 年度			
平成 25 年度			

市町村の結果は、H25 実施アンケート又は、H26、H27 実施調査と比較する。

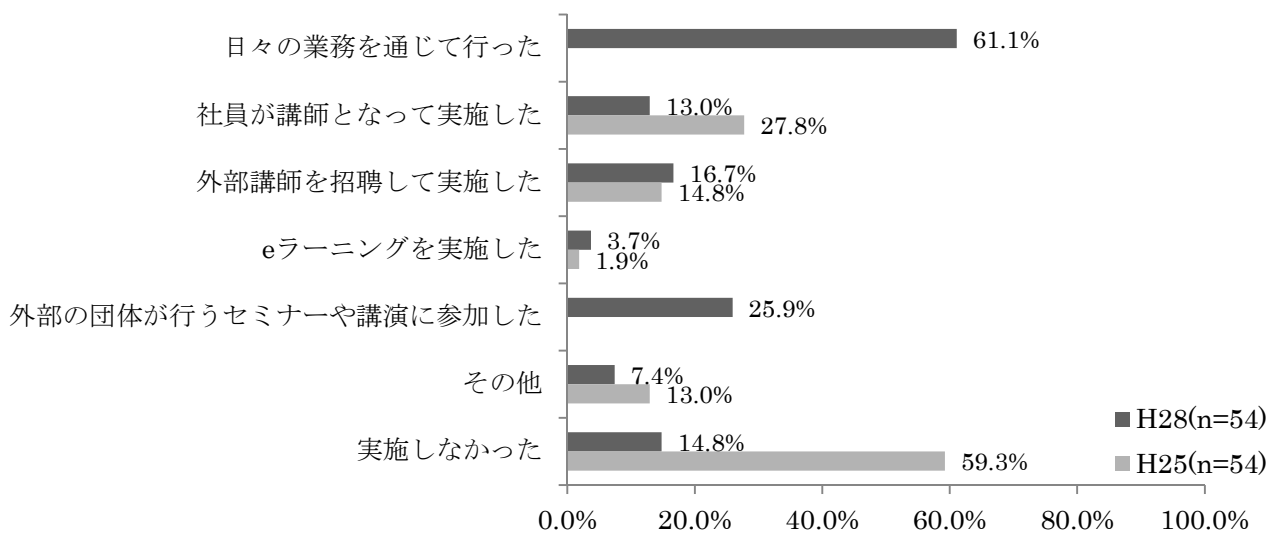
問 1 どのような環境学習や指導者の養成を実施しましたか。



<実施しなかった理由>

- ・人員不足

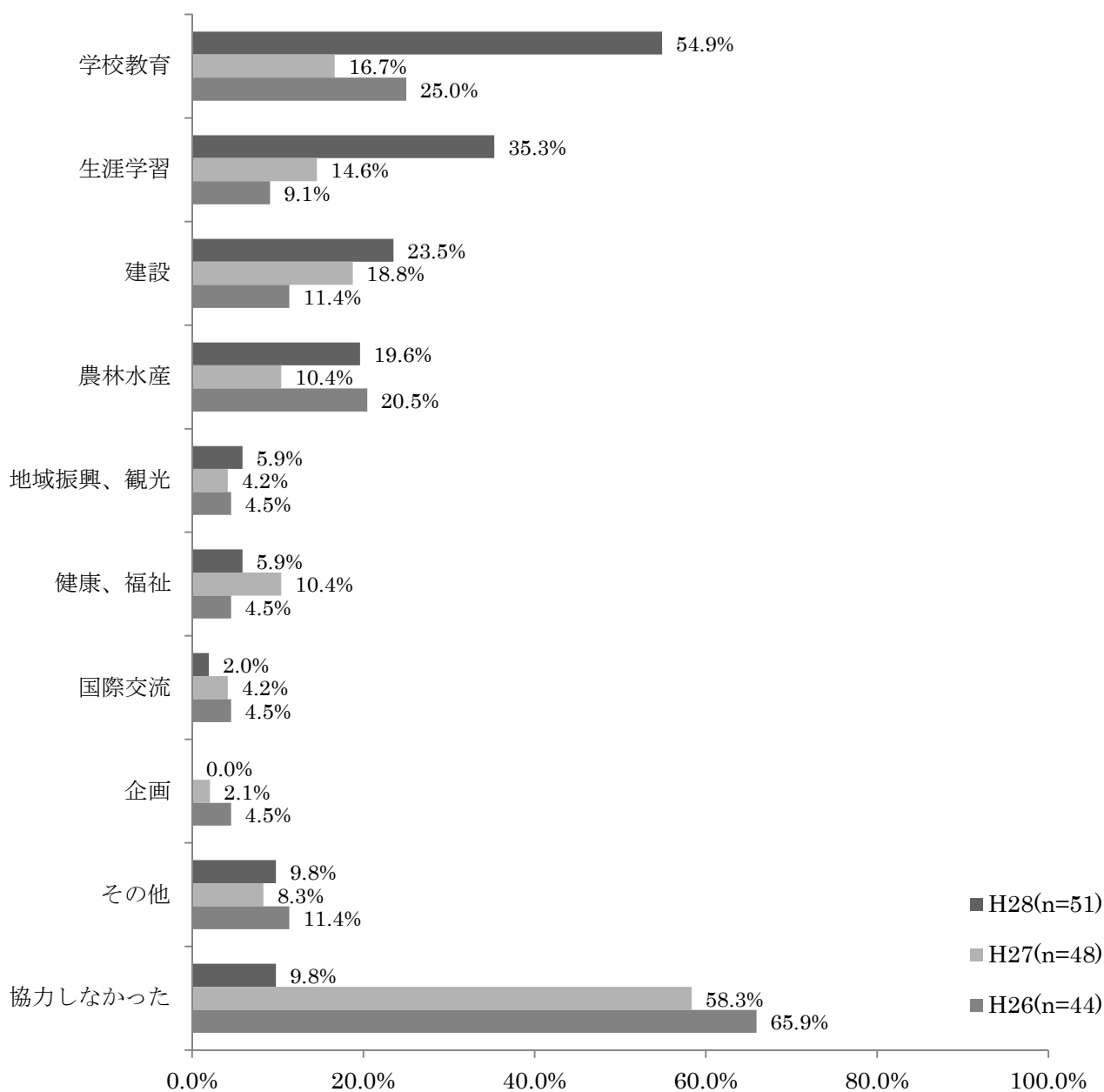
問2 職員に対してどのように環境学習を実施しましたか。



<実施しなかった理由>

- ・職員意識が伴わない
- ・職員向けに行う計画がないため
- ・具体的な学習内容に関して未熟であり、どのように進めるべきかが不明瞭であった。
- ・知識・人員不足のため
- ・体制が確立していないため。

問3 環境学習を実施する際、どのような部局と協力しましたか



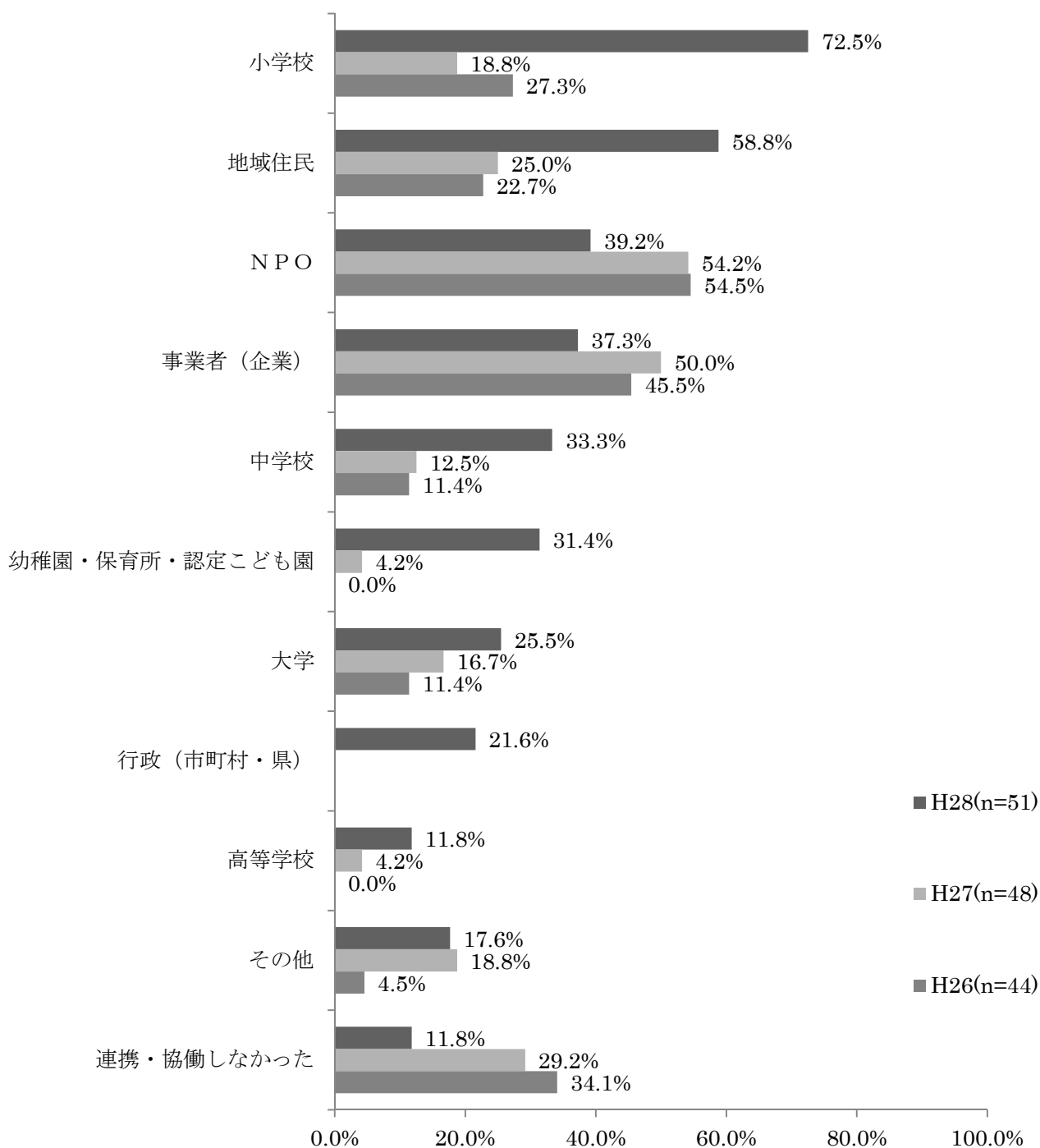
<その他の内容>

- ・上下水道を所管する部局

<協力しなかった理由>

- ・予算時点での話し合いができなかったため
- ・何年も継続している事業であり、NPOや学校と連絡が取れているため

問4 どのような主体と連携・協働して環境学習を実施しましたか。



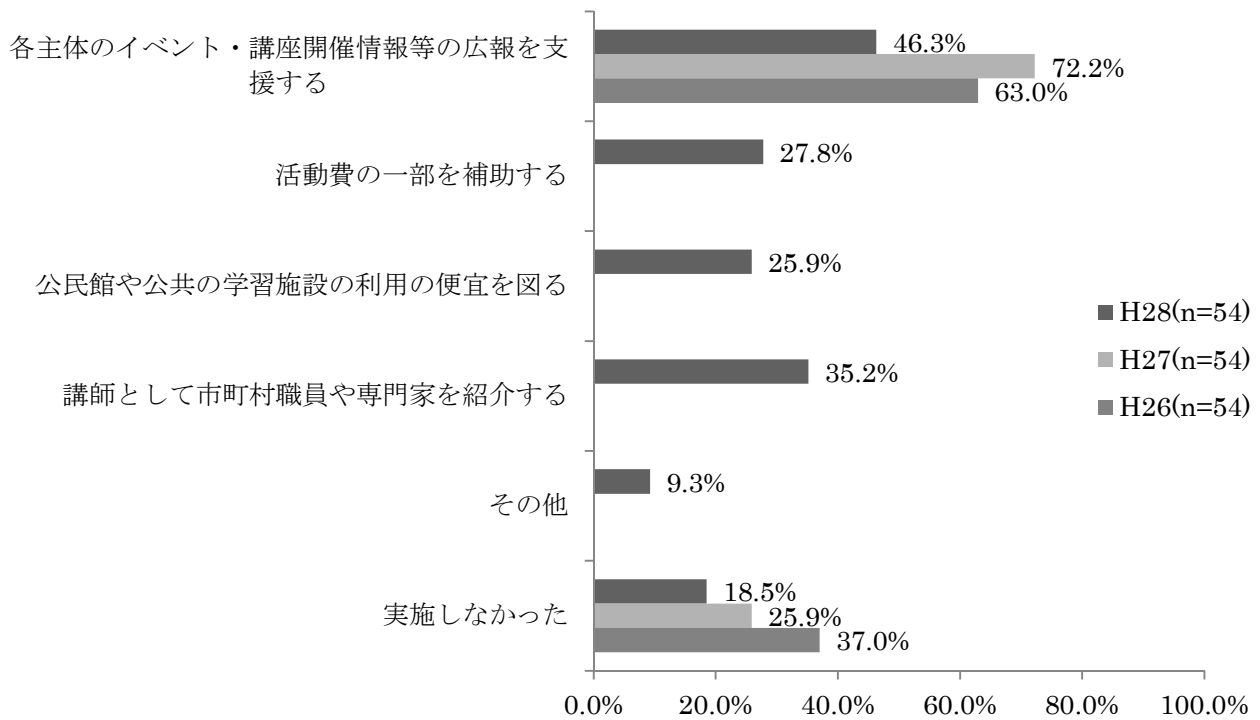
<その他の内容>

- ・市民団体
- ・地元消防団
- ・環境ボランティア団体

<連携・協働しなかった理由>

- ・施設での受け身の体制になっている
- ・人員不足

問5 NPOや事業者が実施する環境学習についてどのような支援をしましたか。



<その他の内容>

- ・水生生物調査に必要な物品の貸出
- ・教職員を対象に環境問題全般に関する講座を開催
- ・学習支援用バス等の手配

<実施しなかった理由>

- ・今後実施を検討していきたい
- ・詳細を把握していないため

問6 環境学習に関する計画を策定しましたか。

